

---

むつ市中心市街地活性化基本計画

潮風さわやか  
大湊



む つ 市

## ご あ い さ つ

むつ市は、下北地域の中核都市として商業等各種機能が集積し市民や広域住民の生活拠点として重要な役割を果たしています。

特に昭和34年に田名部町と大湊町が合併した当市の特異性から、中心市街地も田名部地区、大湊地区それぞれの街の顔として発展して参りました。



しかし、近年その活力が失われ、商店街の空洞化が急速に進んでいる状況は、それが市民の生活の利便性を損なうだけでなく、むつ市の今後の発展にも大きな影響を及ぼすこととなります。

このような背景のもと、今回、地域の創意工夫を活かし行政と民間が連携して「市街地整備改善」と「商業等活性化」を柱とした総合的、一体的推進を図る「むつ市中心市街地活性化基本計画」を策定いたしました。

この計画は、今後のむつ市の田名部地区、大湊地区それぞれの中心市街地の活性化の基本的な施策の進め方を明らかにしたものです。

中心市街地は、これからもむつ市経済の発展や豊かな市民生活の実現に大切な役割を果たす場所です。

中心市街地をこれからのむつ市民のニーズに対応した地域コミュニティの中心として、人が住み、育ち、学び、働き、交流する場として再生することこそ21世紀のむつ市に課せられた課題といえます。

このためには、市民と商業者によるTMO（まちづくり機関）がすみやかに形成され、この基本計画に沿ってまちづくりに係わる各種事業が実施されることにより賑わいのあるむつ市の中心市街地が活性化され再生するものと確信をいたしております。

市といたしましても、この中心市街地を活性化することが最重要課題と認識し、全力を挙げて支援をして参る所存であります。

今回の計画策定に当たりご尽力を賜りましたむつ市中心市街地活性化審議会の委員の皆様並びに作業部会部員として計画づくりにのためのワークショップ等に参加し、ご協力いただきました方々に深く感謝するとともに、市民の皆様の一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成13年10月

むつ市長 杉山 肅



# 目 次

1. 計画の概要	1
(1) 計画の背景と目的	1
(2) 計画策定の流れ	2
2. むつ市の概況	3
(1) 位 置	3
(2) 沿 革	3
(3) 自然的条件（地形、気象）	3
(4) 土地利用	4
(5) 人口、世帯数	4
(6) 通勤・通学流動	5
(7) 交通体系	5
(8) 産業構造	6
(9) 商 業	7
(10) 観 光	8
3. 上位・関連計画等における中心市街地の位置づけ	9
(1) 新・むつ市長期総合計画	9
(2) むつ市都市計画マスタープラン	9
(3) むつ市地区基本計画マスタープラン	11
(4) 平成8年度田名部地区商店街診断	12
(5) むつ市中心市街地活性化のための「基本計画」策定への提言書	12
(6) 下北広域観光振興計画	13
4. 大湊地区の現況特性と問題点	15
(1) 位置、沿革など	15
(2) 人口、世帯数	15
(3) 土地利用	16
(4) 交通施設	17
(5) 公園・緑地	18
(6) 河川・水路等	18
(7) 公共公益施設	18
(8) 歴史・文化的資源	18
(9) 商業環境	22
(10) 周辺地域における関連プロジェクト	25
(11) 写真でみる大湊地区の現況	26
(12) 大湊地区の現況特性と問題点（まとめ）	28

5. 中心市街地の位置及び区域	31
6. 中心市街地活性化の目標と基本方針	33
(1) 目標テーマ	33
(2) 活性化の基本方針	33
(3) ゾーニングとまちづくりの方針	34
7. 中心市街地活性化のための事業	37
(1) 市街地整備改善のための事業	37
(2) 商業等活性化のための事業	42
8. 事業の一体的推進に向けて	47
(1) TMO構想の策定とTMOの設立	47
(2) 関係機関などの協力体制の確立	48
(3) 市民の理解と積極的な参加、協力	48
(4) 事業への取り組み姿勢	48
<b>参考資料</b>	
市民意向（既往調査結果から）	49
ワークショップ結果概要	52
基本計画策定経過	57
各委員名簿	58
用語解説	63

## 計画の概要

1



# 1. 計画の概要

## (1) 計画の背景と目的

我が国では、急速なモータリゼーションの進展、消費者のライフスタイルの多様化や市街地における地価の高騰などにより、郊外への人口流出を始め、大型店舗の郊外への移転及び出店が進んでおり、その一方、中心市街地では、インフラ整備の遅れもあって、居住人口の減少、空き店舗の増加などにより、空洞化が深刻になっております。

むつ市においても、社会経済の景気低迷、商業流通形態の変化などに伴って、幹線道路沿いへの大型店舗等の立地が進み、商店街に内在する歩行空間や駐車場の不足、魅力的な店の不足(店舗スペース、品揃え、価格等)及び後継者の不足などの諸問題が複雑に絡み合って、中心市街地を取り巻く環境は、非常に厳しさを増している状況にあります。

中心市街地は、長い歴史の中で地域の文化や伝統を育み、また様々な都市機能を培ってきた「街の顔」であり、その空洞化は「街のアイデンティティ喪失の危機」と言っても過言でなく、21世紀に向けて子孫に引き継ぐべき豊かな街を創造していくためにも、中心市街地の空洞化は緊急的に解決すべき課題となっております。

このような状況の中で、平成10年7月に中心市街地活性化のための総合的な対策を講じる法的枠組みとして、「中心市街地における市街地の整備改善及び商業等の活性化の一体的推進に関する法律」(中心市街地整備改善活性化法)が施行されました。

「むつ市中心市街地活性化基本計画」は、このような背景を踏まえて、中心市街地の活性化を図るため、市街地の整備改善と商業等の活性化を一体的に推進する上で、その指針となるものであります。

田名部町と大湊町が合併した経緯等から、むつ市には、下北半島の政治・経済の中心地として古くから栄えてきた「田名部地区」と旧海軍の軍港として栄えた「大湊地区」の2地区の中心市街地が存在するため、「むつ市中心市街地活性化基本計画」の策定にあたっては、「田名部地区」と「大湊地区」について、それぞれ独自の基本計画を立案することにしました。

よって、本基本計画書は、「大湊地区」に係る中心市街地活性化のための指針として、とりまとめたものであります。

### ● 中心市街地整備改善活性化法の目的

空洞化が進行している中心市街地の活性化を図るため、地域の創意工夫を活かしつつ、「市街地の整備改善」「商業等の活性化」を柱とする総合的・一体的な対策を、関係省庁、地方公共団体、民間事業者等が連携して推進することにより、地域の振興と秩序ある整備を図り、我が国の国民生活の向上と国民経済の発展を図る。



● 中心市街地整備改善活性化法の概要

【基本的考え方】

- ① 市町村のイニシアティブ
- ② 「市街地の整備改善」と「商業等の活性化」が車の両輪
- ③ 「都市化社会」から「都市型社会」への歴史的転換期に当たっての「都市の再構築」
- ④ 個店や商店街に着目した「点」・「線」から、「面」的な商業活性化策へ
- ⑤ 各省協議会等、関係省庁の連携による各種措置の一体的推進

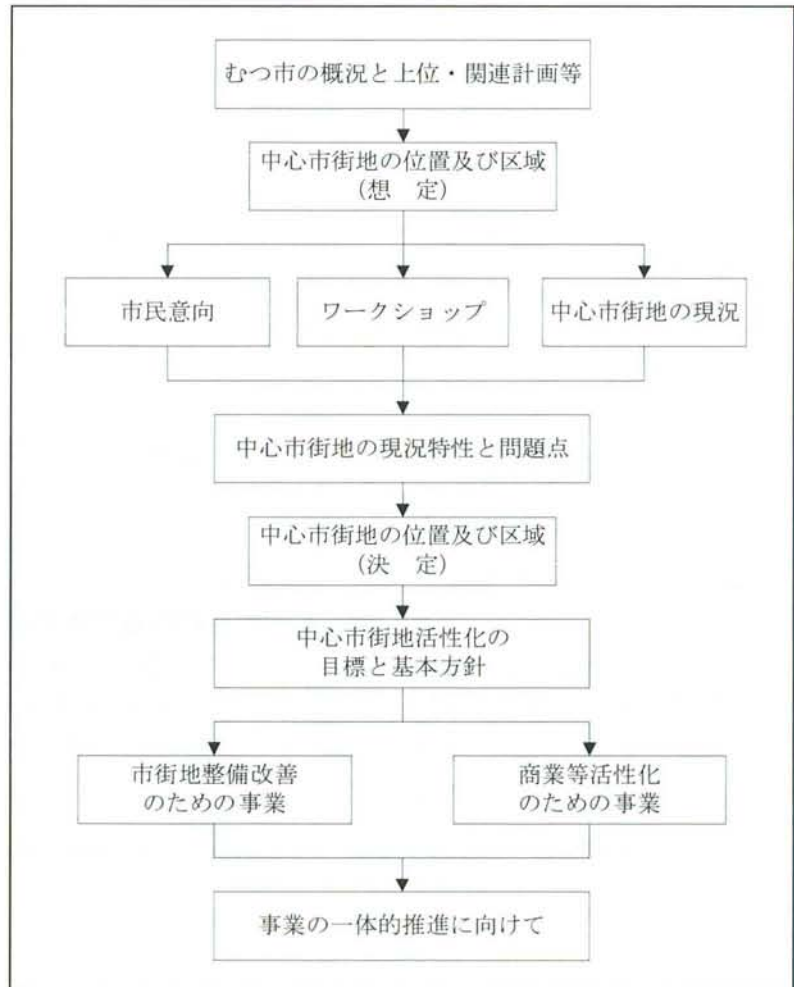
【スキーム】

- ① 国が「基本方針」を作成
- ② 市町村が「基本方針」に即して、市街地の整備改善及び商業等の活性化を中核として関連施策を総合的に実施するための「基本計画」を作成し、国及び都道府県は助言
- ③ 市町村の「基本計画」に則り中小小売商業の高度化を推進する機関（TMO）・民間事業者等が作成する商店街整備や中核的商業施設整備等に関する事業計画を国が認定し、支援を実施

(2) 計画策定の流れ

計画策定の流れは次のとおりです。

■ 計画策定の流れ



## むつ市の概況

2



## 2. むつ市の概況

### (1) 位置

むつ市は、本州最北端下北半島のほぼ中央に位置し、東は下北郡東通村、西は川内町、北は大畑町、南は上北郡横浜町に接し、下北地域の行政、経済、教育などの中心的な役割を担っています。

### (2) 沿革

本市の歴史は古く、発見された遺跡の出土品等から推定 6,000 年以上も前から人が住んでいたことが明らかにされています。

古くは糠部郡宇曾利郷と呼ばれていた下北地方は、良質なヒバ材や長崎俵物として海外貿易品にもなった海鼠などの海産物、さらには鉱物資源に恵まれた、南部藩にとっても重要な地域でした。

また、会津藩が戊辰戦争後の明治 2 年、再興を許され立藩した斗南藩の藩庁が置かれたところでもあります。

明治 22 年の市町村制施行により田名部村と大湊村が誕生しました。田名部村は郡内の政治、経済、交通の中心として着実に成長し、明治 32 年に町制を施行しました。一方、大湊村は明治 35 年の海軍水雷団設置以来、急速に変遷、発展を遂げ、昭和 3 年に町制を施行しましたが、戦後、軍の解体により人口は半減、苦しい復興期を迎えました。

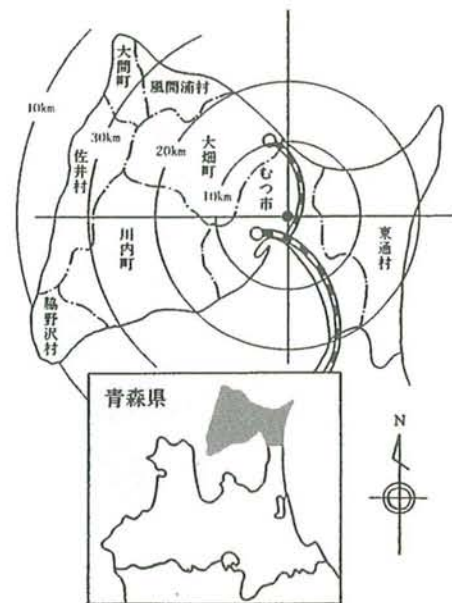
このように、それぞれ異なった発展経路をたどった両町は、昭和 34 年に下北の中核都市、人口 10 万人の田園工業都市建設を目指し、“大湊田名部市”として合併、翌年ひらがなの“むつ市”に改称し、現在に至っています。

### (3) 自然的条件（地形、気象）

本市は、北を津軽海峡に面し、南は陸奥湾を抱く二つの異なる海を持つ特異な地形となっています。また、西は釜臥山系、東南部は丘陵地帯となり吹越山脈へと続いています。

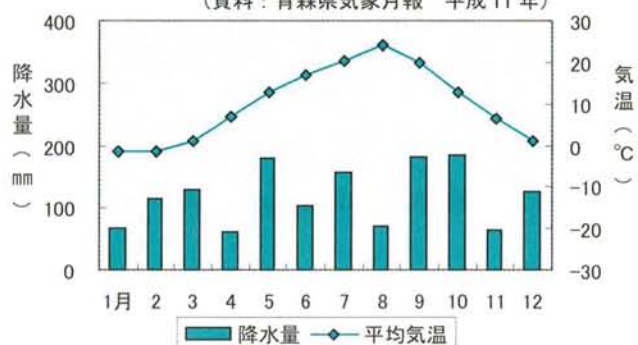
このような地形条件は本市の気候にも深い関わりを持っています。概して冷涼型の気候である青森県の中にあって、春の終わりから夏にかけての偏東風（ヤマセ）による低温の影響が特に強く、農作物が被害を受けやすい自然的条件下にあります。

■ 位置図



■ 年間降水量と気温

(資料：青森県気象月報 平成 11 年)

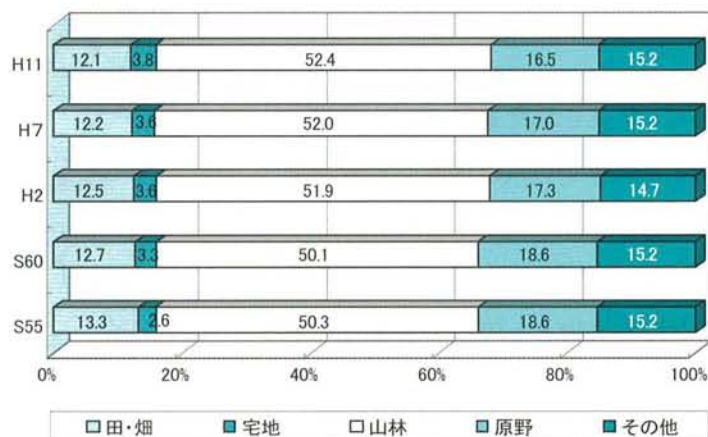


#### (4) 土地利用

市域面積 24,588ha のうち、約 7 割が山林、原野となっています。また、農地は約 1 割で、年々減少する傾向にあります。

宅地は全体の 4%弱にすぎませんが、毎年わずかながら増加しています。宅地の約 7 割が田名部、大湊の市街地（人口集中地区）に集中しています。

■ 地目別土地利用面積の推移（資料：市税務課調査）



#### (5) 人口、世帯数

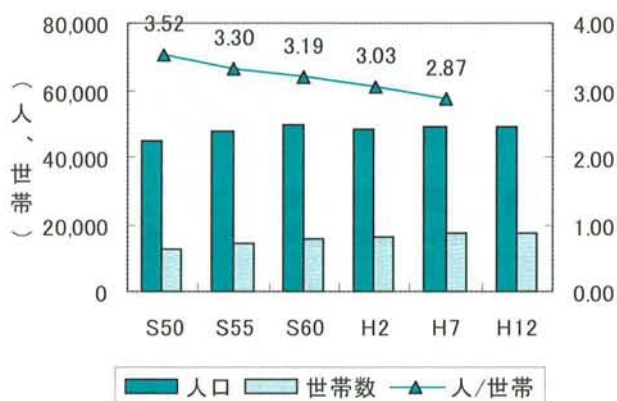
平成 12 年の本市の人口は 49,340 人、世帯数は 18,273 世帯となっています。

人口は昭和 60 年以降ほぼ横ばいで推移していましたが、平成 7 年度からはわずかながら増加基調を維持しています。また、世帯人員は年々減少傾向にあり、核家族化が進んでいます。

平成 7 年国勢調査における年齢別人口構成を見ると、年少人口（14 歳未満）が約 19%、生産年齢人口（15～64 歳）が約 67%、高齢人口（65 歳以上）が約 14%となっています。

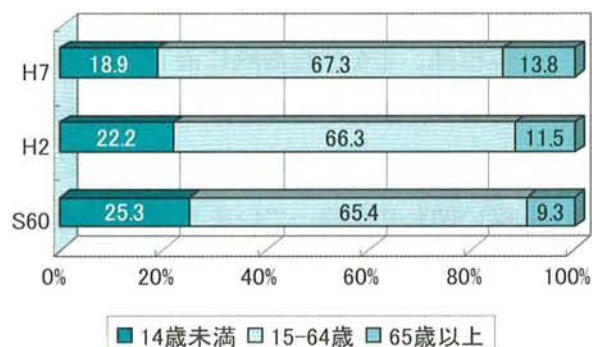
年少人口が減少する一方で、高齢人口が増加しており、いわゆる少子高齢化がむつ市でも進行していることが分かります。

■ 人口、世帯数の推移



注：国勢調査（平成 12 年は速報値）

■ 年齢階層別人口の推移（資料：国勢調査）



## (6) 通勤・通学流動

本市に通勤・通学により流入する人口は約 3,300 人、逆に流出する人口は約 2,200 人です。流入人口が流出人口を大きく上回っており、むつ市が下北地域における中心都市であることが分かります。

### ■ 通勤・通学流動（資料：平成 7 年国勢調査）

就業地・就学地ベース		〈従業地・通学地ベース〉				単位：(人)	
		就業者		通学者		総数	
		実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比
むつ市で就業・就学		24,526	100.0%	2,912	100.0%	27,438	100.0%
自宅就業		2,718	11.1%	0	0.0%	2,718	9.9%
自宅外就業・通学		21,808	88.9%	2,912	100.0%	24,720	90.1%
むつ市に常住		19,170	78.1%	2,230	76.6%	21,400	78.0%
他市町村に常住		2,638	10.8%	682	23.4%	3,320	12.1%
1 大畑町		854	3.5%	153	5.2%	1,007	3.7%
2 東通村		787	3.2%	202	6.9%	989	3.6%
3 川内町		333	1.4%	86	3.0%	419	1.5%
4 横浜町		166	0.7%	66	2.3%	232	0.8%
5 脇野沢町		108	0.4%	78	2.7%	186	0.7%
6 その他		390	1.6%	97	3.3%	487	1.8%

常住地ベース		〈常住地ベース〉				単位：(人)	
		就業者		通学者		総数	
		実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比
むつ市に常住		23,736	100.0%	2,537	100.0%	26,273	100.0%
自宅就業		2,718	11.5%	0	0.0%	2,718	10.3%
自宅外就業・通学		21,018	88.5%	2,537	100.0%	23,555	89.7%
むつ市で就業・通学		19,170	80.7%	2,230	87.9%	21,400	81.5%
他市町村で就業・通学		1,848	7.8%	307	12.1%	2,155	8.2%
1 東通村		555	2.3%	1	0.0%	556	2.1%
2 大畑町		370	1.6%	63	2.5%	433	1.7%
3 横浜町		234	1.0%	20	0.8%	254	1.0%
4 野辺地町		19	0.1%	174	6.9%	193	0.7%
5 六ヶ所村		143	0.6%	0	0.0%	143	0.5%
6 その他		527	2.2%	49	1.9%	576	2.2%

## (7) 交通体系

### ① 公共交通（鉄道、バス）

本市には、JR 大湊線（野辺地駅～大湊駅）と下北交通大畑線（下北駅～大畑駅）が通っており、両路線とも日運行本数（上下計）は 20 本と少なく、地域住民の日常的な足として十分なサービスを提供しているとは言い難く、乗降客も減少する傾向にありました。このようなことから、下北交通大畑線は平成 13 年 3 月 31 日をもって廃線になりました。

また、JR バスと下北交通バスが市を中心に運行されており、地域の人々にとって重要な交通手段となっています。

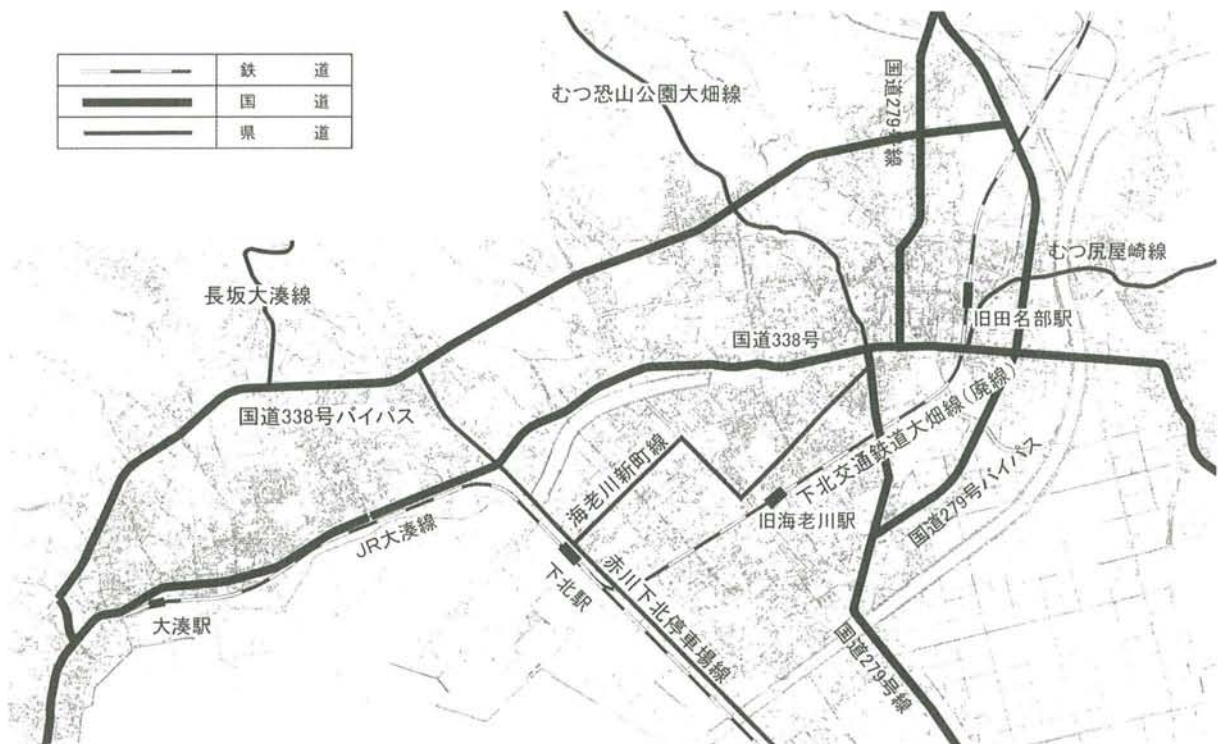
### ② 道路網

むつ市では、下北地域の広域交通軸である国道 279 号、338 号と、むつ尻屋崎線、むつ恐山公園大畑線、赤川下北停車場線、海老川新町線などの県道により、骨格的な道路網が形成されています。

市街地ではこれらを軸にして格子状に都市計画道路を計画しており、バイパスなどを中心に新規道路の整備を進めています。

また、下北地域の産業経済の発展及び広域観光ルートの形成を図るための地域高規格道路として“下北半島縦貫道路”の早期整備が期待されています。

■ 交通網図



(8) 産業構造

平成7年国勢調査による産業別就業人口は、第1次産業が約5%、第2次産業が約23%、第3次産業が約72%となっており、むつ市では第3次産業が中心的な産業であることが分かります。

昭和50年から平成7年までの20年間の推移を見ると、就業者全体では約20%増加しています。産業別には第1次産業が約53%減少する一方で、第2次産業は約24%、第3次産業は34%の増加をみえています。

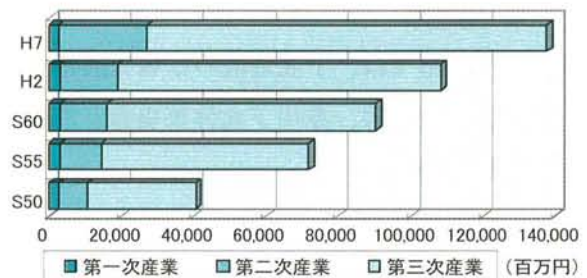
■ 産業別就業人口の推移

(資料：国勢調査)



■ 産業別市内純生産額の推移

(資料：市民所得統計)



## (9) 商業

むつ市は、下北地域の行政、経済、教育などの中心都市として発展してきましたが、近年はモータリゼーションの発達などにより中心性がさらに高まりつつあります。商圈も拡大傾向にあり、下北地域からさらに横浜町、六ヶ所村まで商圈が及んでいます。

■ むつ市の小売商圈とその推移（資料：平成12年度 青森県消費購買動向による商圈調査）

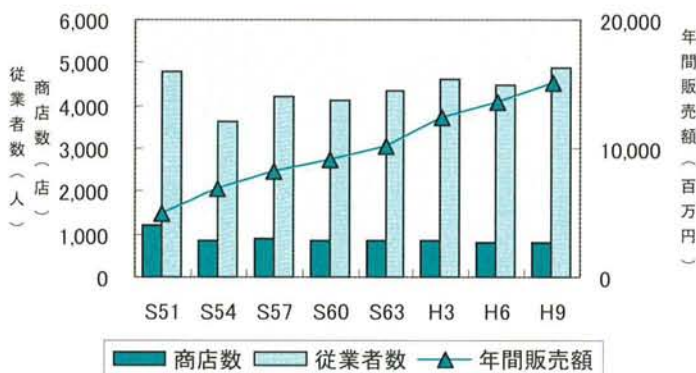
	第1次商圈 (吸収率50%以上)	第2次商圈 (30～49.9%)	第3次商圈 (10～29.9%)	第4次商圈 (5～9.9%)
昭和63年	東通村、むつ市、風間浦村、脇野沢村、 横浜町、佐井村、川内町	大畑町、大間町		六ヶ所村
平成3年	東通村、むつ市、脇野沢村、風間浦村、 横浜町、大畑町、川内町、佐井村	大間町		六ヶ所村
平成6年	東通村、むつ市、脇野沢村、風間浦村、 川内町、大間町、横浜町、大畑町	佐井村	六ヶ所村	
平成9年	東通村、むつ市、脇野沢村、風間浦村、 川内町、大間町、横浜町、大畑町、 佐井村		六ヶ所村	
平成12年	東通村、むつ市、脇野沢村、風間浦村、 川内町、大間町、横浜町、大畑町、 佐井村		六ヶ所村	

平成9年商業統計によると、むつ市の商店数は791、従業者数は4,866人、年間販売額は1,510億円となっています。

近年のロードサイドへの大型店舗の進出、中小店舗の廃業という図式の中で、商店数は減少傾向にあるものの、従業者数や年間販売額は増加する傾向にあります。

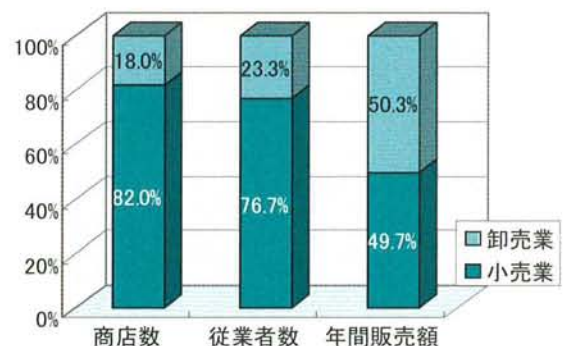
■ 商業活動の推移

(資料：商業統計調査)



■ 平成9年の小売業と卸売業

(資料：商業統計調査)



むつ市では大きく分けて、田名部地区、大湊地区、中央地区において商業集積が見られています。田名部地区、大湊地区は、田名部町、大湊町の中心地として発展してきた旧来からの市街地です。一方、中央地区は両地区の中間に位置し、道路整備に伴いロードサイド型店舗が多く進出した比較的新しい市街地です。

田名部地区、大湊地区では、中央地区での商業集積の高まりなどもあって、商業的な活力が失われつつあり、この再生がむつ市にとって大きな課題となっています。



## (10) 観光

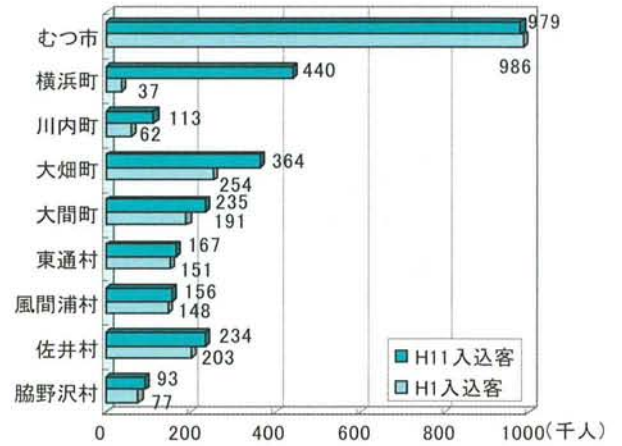
むつ市は、下北地域の観光の拠点都市でもあります。

平成 11 年における下北地域全体の観光入込客数 278 万人に対し、むつ市の観光入込客数は 98 万人で、全体の 35%程度を占めています。

■ 下北地域の観光入込客数の推移  
(資料：青森県観光統計概要)



■ 市町村別観光入込客数  
(資料：青森県観光統計概要)



**上位・関連計画等における  
中心市街地の位置づけ**

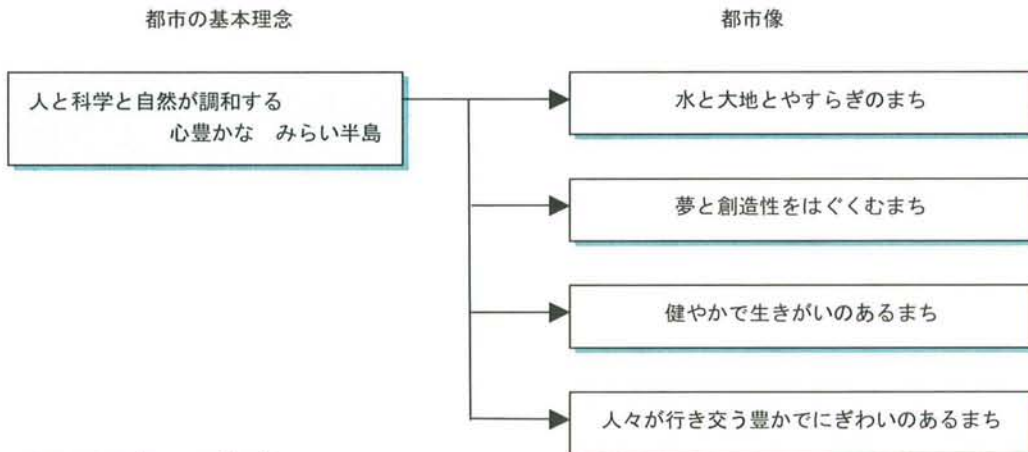


### 3. 上位・関連計画等における中心市街地の位置づけ

#### (1) 新・むつ市長期総合計画（平成13年9月：むつ市）

##### ① 基本理念と将来像

「第3次むつ市長期総合計画」を継承し、“人と科学と自然が調和する 心豊かな みらい半島”を基本理念に、21世紀を展望した4つの都市像を掲げています。



##### ② 中心市街地活性化の推進

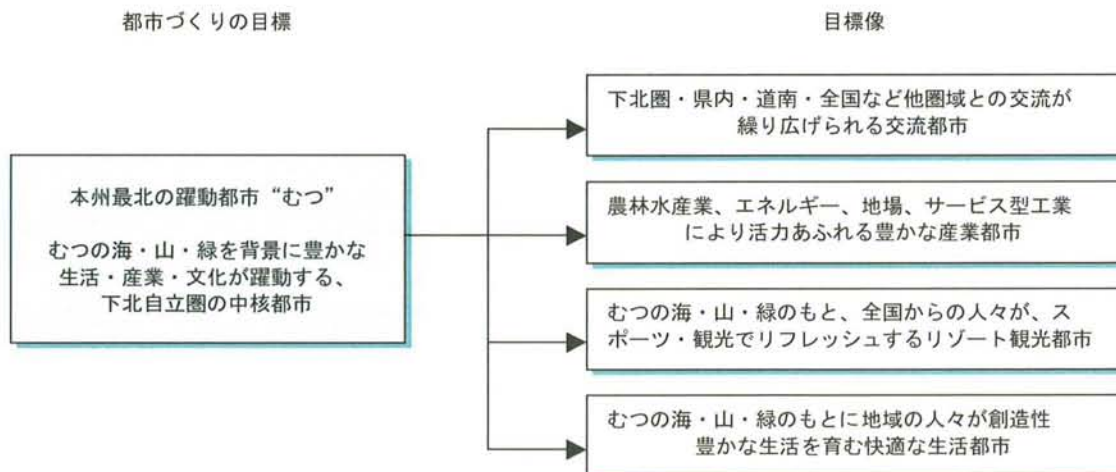
活力とにぎわいを創出するために（交流にぎわい基盤）に関連して、中心市街地活性化の推進について、以下のように記述されています。

中心市街地活性化基本計画の積極的な施策の展開を図るとともに、各種制度を活用し、商工会議所や各商店街が推進する商店街活性化策を支援します。

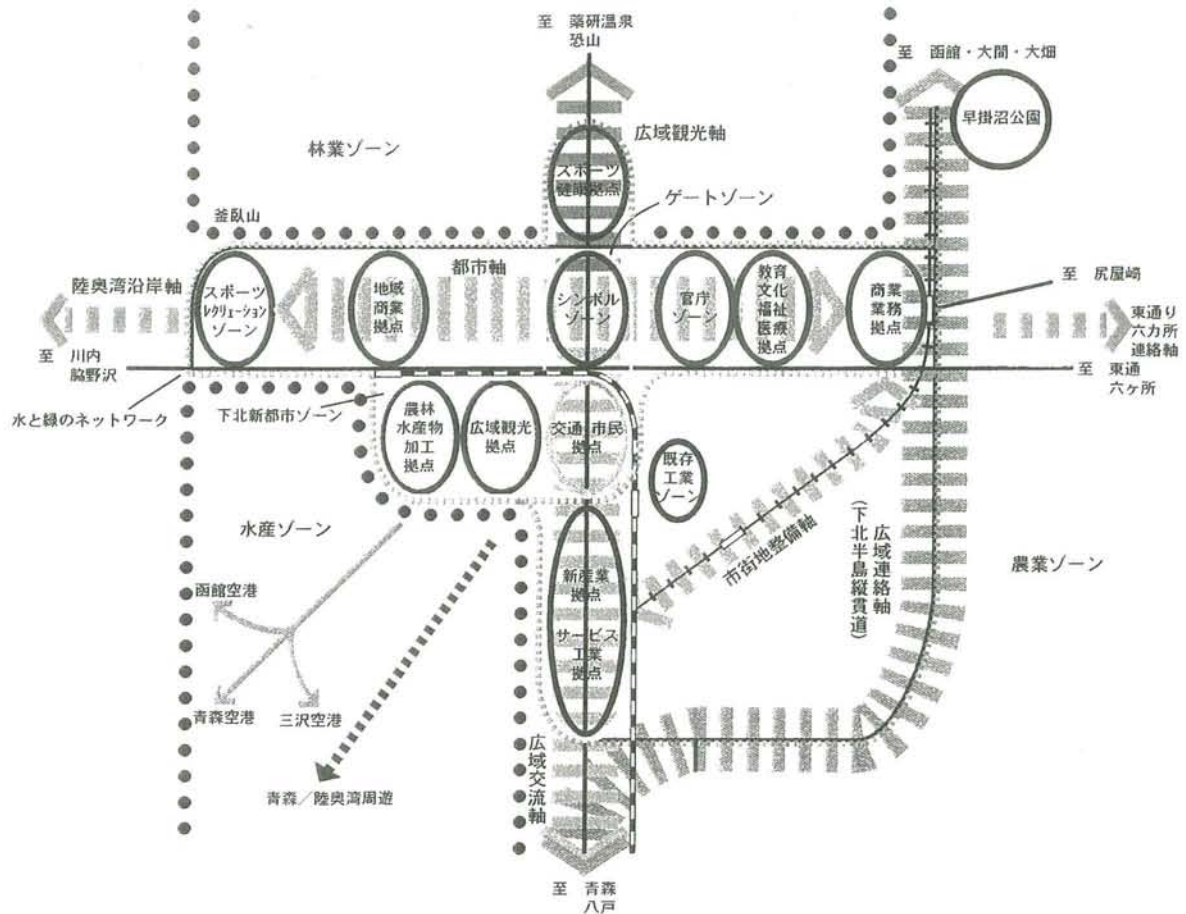
#### (2) むつ市都市計画マスタープラン（平成7年3月：むつ市）

##### ① 都市づくりの目標

本計画は、むつ市における土地利用と都市施設のあり方を明らかにすることを目的としていますが、都市づくりの目標を以下のように掲げています。



## ■ 将来都市構造図



### ② 田名部地区と大湊地区の位置づけと整備方針

土地利用の基本計画において、田名部地区は都心商業業務地、大湊地区は地域拠点商業地として位置づけられています。

#### a. 都心商業業務地（田名部地区）の方針

- ・ 市の中心市街地である田名部駅前周辺地区を下北圏域全体を商圏とする高密度商業集積地として、消費者の多様なニーズに対応した都市的魅力を備えた商店街への変革を図り、駅前再開発事業等によりシンボルロード「来さまい橋通り」や買い物広場との一体的な整備を推進し、商業、業務、娯楽機能の高度化をめざす。

#### b. 地域拠点商業地（大湊地区）の方針

- ・ J R大湊駅周辺地区を地域生活のための商業拠点とし、既存商店街の活性化を図るとともに当該地区に水揚げされる魚介類を扱う生鮮魚市場や青果市場、シーフードレストラン、野外バーベキュー施設等による魅力ある商業空間の形成に努める。

### (3) むつ市地区基本計画マスタープラン（平成7年3月：むつ市）

本計画は、都市計画マスタープランを受け、市街地9地区の具体的な整備内容などを明らかにしていますが、田名部地区、大湊地区については、次のような整備の基本方針が示されています。

#### ■ 地区区分図



#### ■ 田名部地区の整備の基本方針

目 標	整 備 方 針
<ul style="list-style-type: none"> <li>下北圏域を代表する広域商業拠点として、都市的諸機能が複合した商業業務地の形成を図り、地域の特性を活かした美しい都市景観を創出するとともに、ゆとりある豊かな都市空間の形成をめざす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地再開発事業等の導入により、大型店を核とした個別、専門店の集積を図り、それぞれの特性を活かした買いまわりゾーンの形成を図る。</li> <li>田名部駅周辺の整備としては、駐車場の確保や買い物広場・イベント広場の活用を図る。</li> <li>田名部川環境整備事業を推進するとともに、「来さまい橋通り」の延伸整備により田名部川から「来さまい橋通り」までを市内観光ルートとして活用する。</li> </ul>

#### ■ 大湊地区の整備の基本方針

目 標	整 備 方 針
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民のために食料品、衣料品、雑貨といった生活必需品を中心とする買い物の利便性や最寄性の向上を図り、商店街の活性化により活力のあるまちづくりをめざす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>商店街活性化街路事業や商店街近代化事業等によりショッピングモールの整備や店舗の共同化を図り、個性的で魅力あるショッピングゾーンの形成を図る。</li> </ul>

(4) 平成8年度田名部地区商店街診断(平成9年3月:青森県、むつ市、むつ市商工会)

むつ市における商業集積地を“田名部地区”“大湊地区”“中央地区”とし、各地区の役割分担を以下のように位置づけています。

- 【田名部地区】 都市機能を包含した地域中心商業機能
  - ・ 下北地域の中心商業機能
  - ・ 田名部地区住民の生活利便商業機能
  - ・ 観光客への対応商業機能
- 【大湊地区】 駅前及び地区中心商業機能
  - ・ 大湊地区住民の生活利便商業機能
  - ・ JR発着点としての駅前利便商業機能
- 【中央地区】 商業施設を中心とした地域中心商業機能
  - ・ 自動車客を対象とした利便商業機能
  - ・ 目的性を持った単品販売機能

(5) むつ市中心市街地活性化のための「基本計画」策定への提言書(平成12年3月:むつ商工会議所)

商工会議所全会員を対象にしたアンケート調査や(協)田名部駅通り商店会(現在、田名部駅通り商店街振興組合)、ボランティアグループまちづくり倶楽部、商工会議所青年部などからの提案を踏まえ、基本計画に対する提言を行っています。

① 活性化に向けた基本理念

「賑わいと伝統が調和した活力ある未来都市むつの創造に向けて」

② 中心市街地の位置と範囲

- ・ 「田名部地区商店街」を包含した区域と「大湊地区商店街」を中心とした区域の2ヶ所

③ 中心市街地活性化のための提言

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住みやすく、住んで楽しい市街地をつくる(居住環境)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住居環境の整備</li> <li>・ 景観整備</li> <li>・ 高齢者等への対策</li> <li>・ 都市計画における用途地域の規制緩和</li> <li>・ 固定資産税の減額など税制面での支援策</li> <li>・ 保育施設の充実</li> <li>・ 公共施設の集積</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 賑わいと活気にあふれた市街地をつくる(活気)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ショッピングモールの整備</li> <li>・ パティオ型店舗集積の整備</li> <li>・ 家族みんなが楽しめる飲食街とレジャー施設の設置</li> <li>・ 田名部駅前用地に産業会館の建設</li> <li>・ 特産物を扱う市場の開設</li> <li>・ 市内循環バスの運行</li> <li>・ スポーツ交流施設の建設</li> <li>・ 大湊駅裏、大平漁港周辺の整備・活用</li> <li>・ お祭り会館の建設</li> <li>・ 空き店舗の有効活用</li> <li>・ 共同店舗、共同宅配事業</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>自然・歴史・文化に触れ合える市街地をつくる（自然・歴史・文化）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然・歴史・文化に触れ合えるコース・場所の設定</li> <li>各種資料館の開設、資料の展示等</li> <li>市の収蔵庫の移転</li> <li>観光資源の発掘・PR</li> <li>蔵元通りの設定</li> <li>市街地案内板の設置</li> <li>美術・芸術テーマパークの設置</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒューマンスケールの市街地をつくる（交通）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大規模駐車場の設置</li> <li>商店街へアクセスする道路や歩道の設置</li> <li>田名部駅前に合同ステーションの設置</li> <li>歩行者、特に高齢者・障害者が安心して買い物できる歩道の整備</li> <li>高齢者等でも使える交通機関・手段の確立</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちで市街地をマネジメントする（市民協働）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>むつTMOの設立とタウンマネージャーの育成</li> <li>まちづくりへの市民意識の高揚、市民・企業の参加</li> <li>ボランティア活動、市民活動の支援</li> </ul>

#### （6）下北広域観光振興計画（平成12年3月：財団法人電源地域振興センター）

本計画では、下北広域圏が共同で取り組むべき観光振興の基本方針と施策の体系などが示されています。

##### ■ 下北広域観光振興計画の施策の体系

1. 下北の「自然」を売り込もう	(1) 共通イメージの創出 (2) 下北のビューポイントづくり
2. 下北の個性を演出しよう	(1) プラス温泉で、健康と癒し (2) 食の魅力づくり
3. テーマ型観光を充実しよう	(1) 体験する観光 (2) 歩く観光 (3) 冬の誘客
4. 周遊型の観光ネットワークをつくらう	(1) 新幹線八戸駅からのアクセス強化 (2) 交通の連携による周遊ルートの確立 (3) ネットワークを支えるソフト事業 (4) 宿泊機能の強化
5. 広域協力体制を強化	(1) 情報ネットワーク (2) イベントネットワーク (3) 物産ネットワーク

むつ市に特に関連するものとしては、むつ市街散策などが提案されています。

【むつ市街散策】：むつ市内の寺社、史跡、造り酒屋、土産物屋、飲食店などをネットワークした散策コースを用意し、都市型観光を提供する。





## 大湊地区の現況特性と問題点



## 4. 大湊地区の現況特性と問題点

### (1) 位置、沿革など

大湊地区の中心市街地は、むつ市市街地西部に位置します。北西に釜臥山を擁し、南に大湊湾を望む、自然豊かな区域です。

旧大湊町の中心地であり、かつては海軍のまちとして栄えていました。現在の町名区分では、概ね大湊新町、大湊浜町、大平町で構成されています。



### (2) 人口、世帯数

住民基本台帳（各年3月末現在）に基づき、大湊地区（大湊新町、大湊浜町、大平町）の人口、世帯数の推移をみたのが下図です。

大湊地区においては、人口は減少傾向にあり、世帯数は横這いとなっています。

■ 大湊地区の人口、世帯数の推移（資料：住民基本台帳）



		H 4	H 6	H 8	H10	H12	H12/H4
大湊地区	人口 (人)	3,922	3,791	3,629	3,568	3,593	0.92
	世帯数 (戸)	1,447	1,458	1,443	1,449	1,464	1.01
	世帯人員 (人/戸)	2.71	2.60	2.51	2.46	2.45	0.91
全 市	人口 (人)	49,579	49,714	50,021	50,168	50,424	1.02
	世帯数 (戸)	18,411	18,958	19,445	19,977	20,367	1.11
	世帯人員 (人/戸)	2.69	2.62	2.57	2.51	2.48	0.9

資料) 住民基本台帳(各年3月末現在)

注) 大湊地区: 大湊新町、大湊浜町、大平町

### (3) 土地利用

#### ① 用途地域

JR大湊線北側の主要道路沿いに商業地域及び近隣商業地域が指定されています。

その北側は住居系用途地域（第1種住居地域、第1種中高層住居専用地域、第1種低層住居専用地域）が、南側は工業系用途地域（工業地域、準工業地域）が指定されています。

また、工業地域の大部分は臨港地区が指定されています。



#### ② 土地利用、建築物等の状況

大湊駅を中心とする国道338号などの道路沿道に近隣型の商店街が形成されていますが、専用店舗は少なく大部分は住居併用店舗となっています。

住居系地域が指定されている山側では、低層住宅を主体とした比較的な良好な住宅地が形成されています。

工業系用途が指定されている海側一帯は、鉄工所、整備工場、水産関連施設、倉庫、資材置場などの工業系として土地利用がされており、大湊駅裏手には広大な未利用地が広がっています。

#### (4) 交通施設

##### ① 道路

区域及び周辺では、国道 338 号が幹線道路としての機能を担っています。この国道 338 号は、区域西側までバイパス整備が完了しています。

国道 338 号の商店街部分の交通量（9時～19時）は、平成 12 年で約 6,000～7,000 台とかなり多い状況にありますが、歩道が整備されておらず安全性や快適性に問題があります。

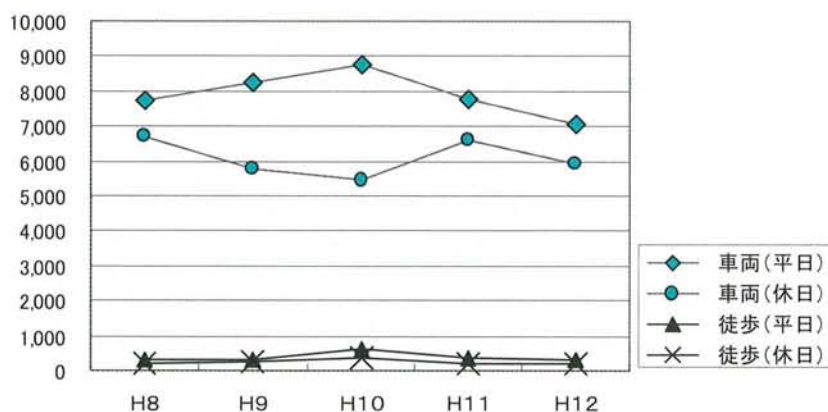
国道 338 号とバイパスとを結ぶ道路として 3・5・11 大湊浜町八森線と 3・5・10 太平町大湊新町線が計画されていますが、3・5・10 大平町大湊新町線については地形的制約などから整備が進んでいません。

その他道路については、海側の道路は比較的充実していますが、山側は地形的制約もあって全般的に道路が狭隘で量的にも不足している状況にあります。

J R 大湊線により市街地が 2 分されていますが、鉄道の南北を結ぶ道路が不足していることも、市街地整備上の大きな問題となっています。

なお、大湊新町から大湊浜町にかけての国道 338 号から市道浜通線に連絡する道路には、浜町坂、船見坂、常楽寺坂、ロマンス坂などの名称をつけています。

■ 国道 338 号（カメラのみなみや大湊店前）の交通量  
(資料：「むつ市内交通量調査 2000」(むつ商工会議所))



##### ② 鉄道

区域中央に J R 大湊線の終着駅である大湊駅があります。1 日当たりの運行本数は、上り下りあわせて 20 本です。

##### ③ 港湾

区域東側には大平船溜まりがあります。大平船溜まり西側隣接部にも船溜まりがありますが、有効的に利用されていない状況となっています。

#### (5) 公園・緑地

区域及び周辺における都市公園は上町児童公園（0.18ha）のみとなっています。住宅地内に小公園が見られますが、地域住民の憩いや集いの空間としての公園が全般的に不足しています。

むつ保健所北側に野球場跡地がありますが、現在は未利用地のまま放置されています。

また、願求院裏に残存するまとまった樹林地は、市街化が進んだ区域にあつて貴重な緑地となっています。

#### (6) 河川・水路等

区域では、釜臥山から海に向かって小荒川、小松野川、稲荷川などの河川が流れていますが、下水道が整備されていないため、生活雑排水による水質悪化も見られています。

また、区域及び周辺は良質な地下水に恵まれ、地下水が日常的に利用されています。

#### (7) 公共公益施設

区域及び周辺の主要な公共公益施設としては、むつ市公民館、むつ保健所、勤労青少年ホーム、大平保育所などがあります。

むつ市公民館は、地域住民の各種文化・レクリエーション活動の拠点として重要な役割を果たしています。

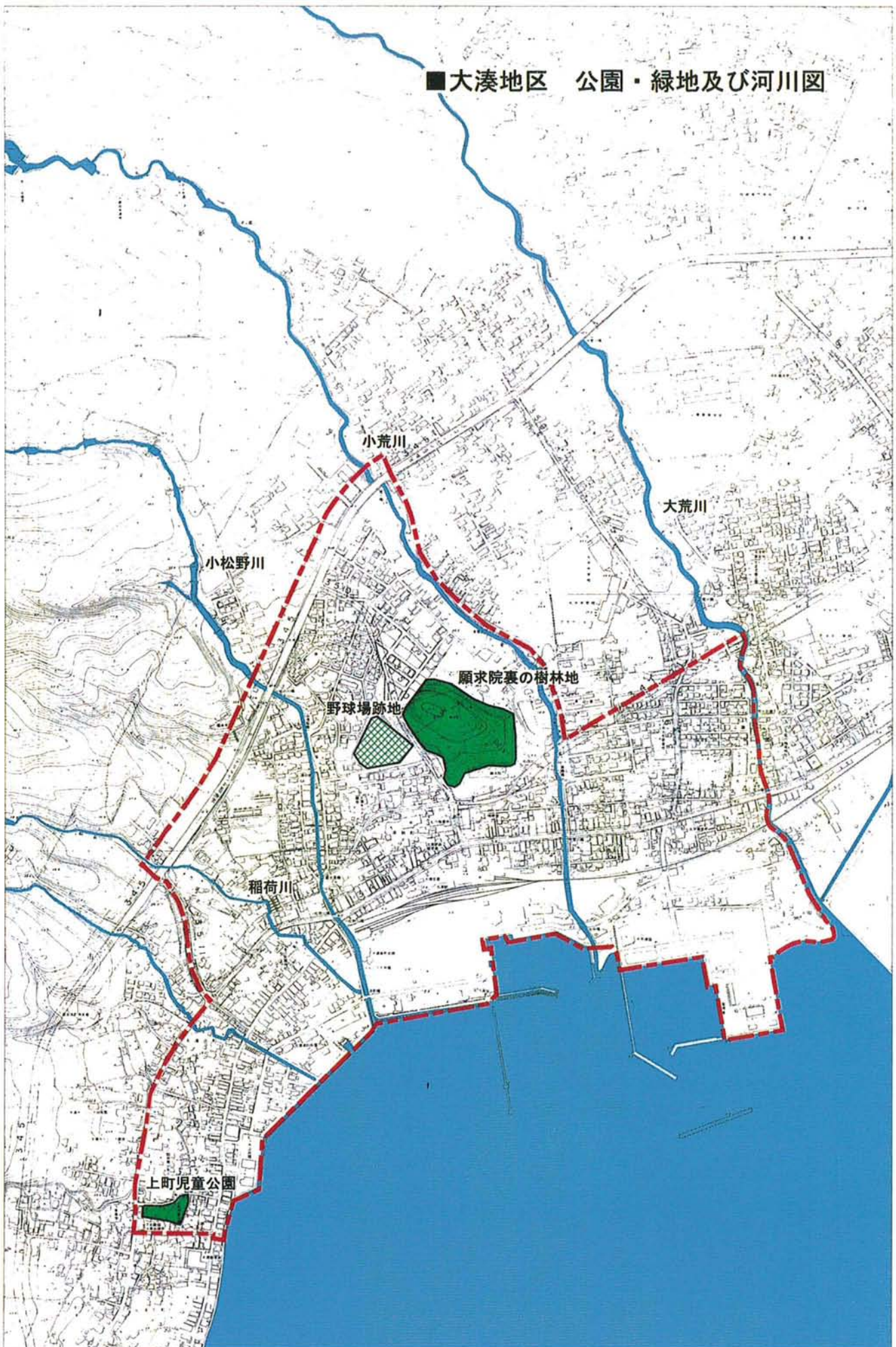
#### (8) 歴史・文化的資源

区域及び周辺には、金比羅神社、神明宮、願求院などの寺社が点在しています。

また斗南藩士（旧会津藩士）上陸の地にちなんで大平船溜まり西側に斗南藩士上陸の碑が設置されています。

大湊地区を代表する伝統的な行事として、毎年8月最初の金～日曜日に行われる大湊ネブタ祭りがあります。100年以上の歴史を持つ祭りで、町内会や職場単位で制作された大型ネブタ12台が運行され、大湊地区盆唄の流し踊りも行われます。

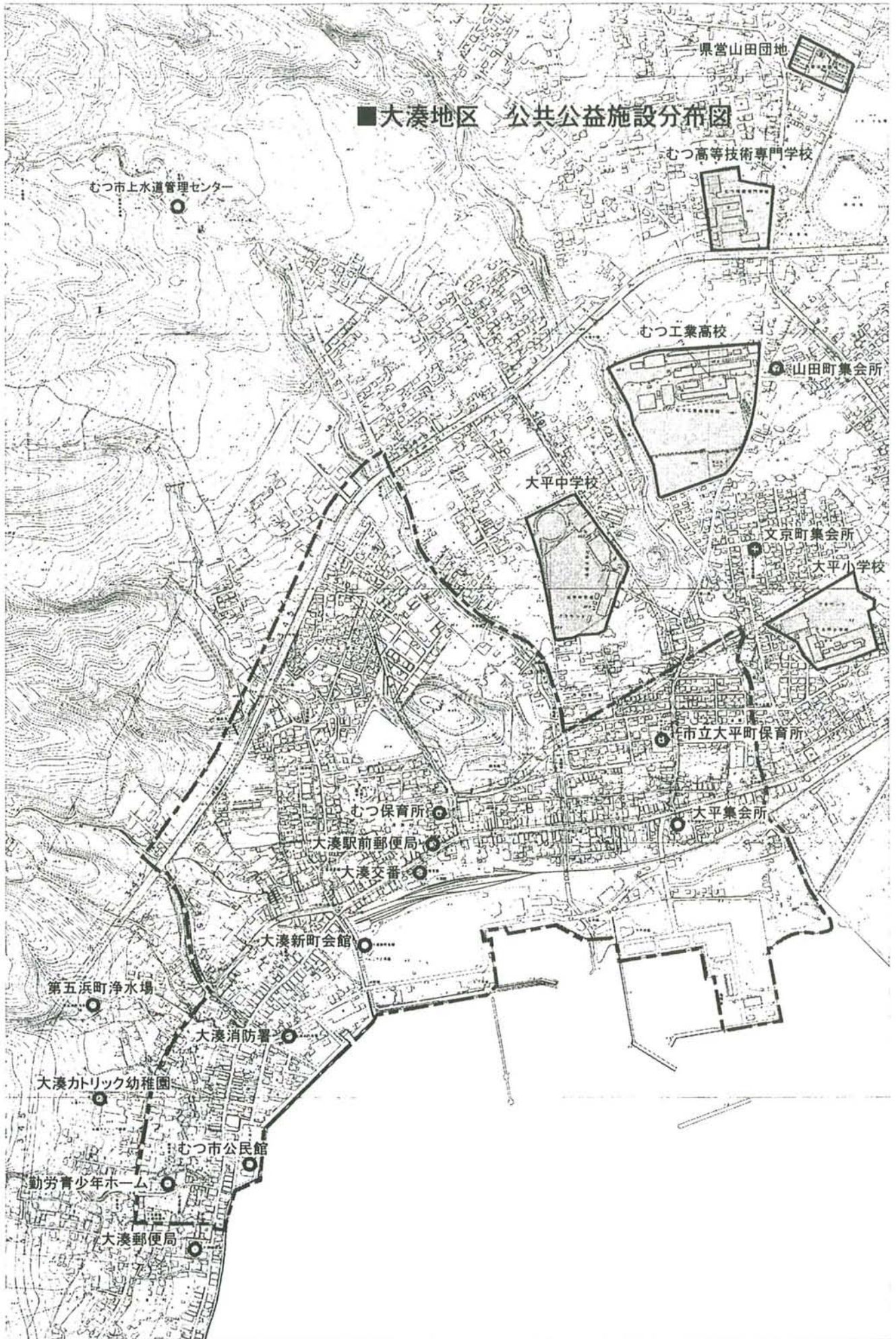
■大湊地区 公園・緑地及び河川図



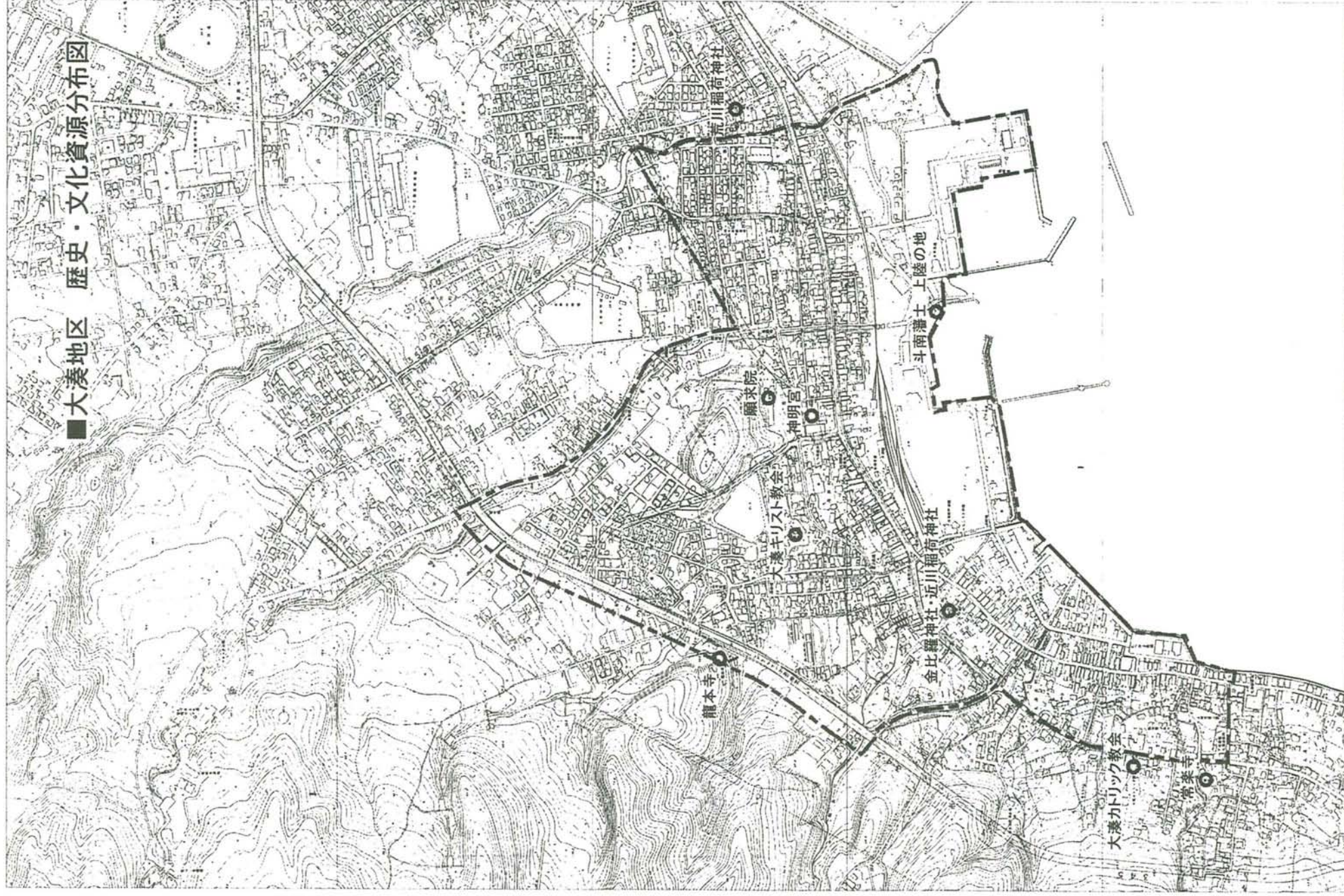
むつ市中心市街地活性化基本計画

1:10000





むつ市中心市街地活性化基本計画



むつ市中心市街地活性化基本計画

1:10000

## (9) 商業環境

### ① 商店街組織

区域には、“大湊駅前通り商店街”と“大湊浜町商店街”の2つの商店街があります。各商店街の概要は下表のとおりです。

■ 商店街の概要

商店街名	組織名称等	会員数	街区延長	これまでに実施した主な事業
大湊駅前通り商店街	(協)むつ専門店会	68名	280m	・街路灯(スズラン灯) ・共同駐車場 ・単独大売り出し ・共同大売り出し ・まける市 ・先進地視察 ・街区の商業診断 ・共同装飾 など
大湊浜町商店街	大湊サービス店会	25名	440m	・共同大売り出し ・大抽選会 ・先進地視察研修 など

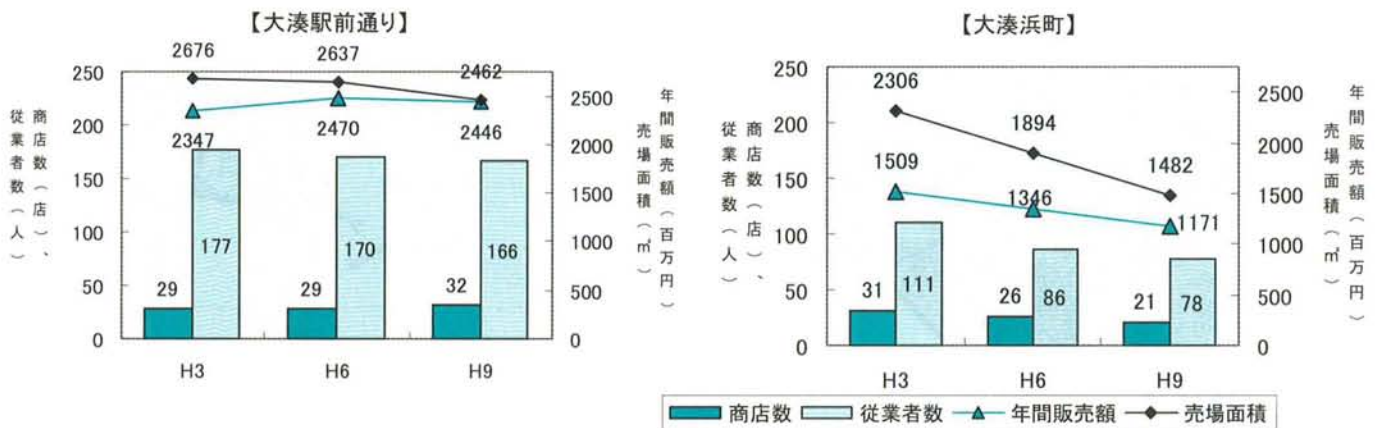
### ② 商店街区別商業活動の推移

「青森県八市の商店街区の現況」(青森県統計協会)による商店街区別商業活動の推移は下図のとおりです。

大湊駅前通りでは、商店数、従業者数、販売額、売場面積の各数値とも、ほぼ横這いで推移していますが、大湊浜町では、大きな落ち込みが見られています。

■ 商店街区別商業活動の推移(小売業)

(資料:「青森県八市の商店街区の現況」)



注) 集計対象は左図商店街区内の小売業のみであり、飲食店、サービス業などは含まれていない。

### ③ 各種店舗・事業所等の分布状況

中心市街地域には、小売店(31%)以外にも飲食店(34%)、各種サービス業店舗(20%)、各種事業所(10%)なども数多く分布しています。全体の半数近くは大湊駅前、大湊浜町以外の街区に広く分布しています。

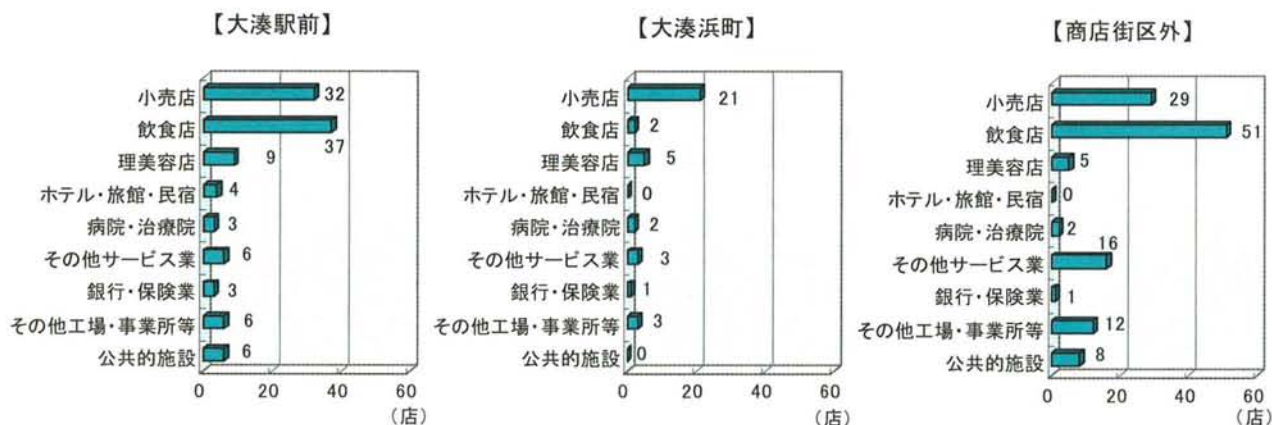
#### ■ 各種店舗・事業所等の現状

区 分	大湊駅前	大湊浜町	商店街区外	合 計	(構成比)
1. 小売・サービス業	91	33	103	227	85.0%
①小売店	32	21	29	82	30.7%
②飲食店	37	2	51	90	33.7%
③理美容店	9	5	5	19	7.1%
④ホテル・旅館・民宿	4	0	0	4	1.5%
⑤病院・治療院	3	2	2	7	2.6%
⑥その他サービス業	6	3	16	25	9.4%
2. その他の事業所	9	4	13	26	9.8%
⑦銀行・保険業	3	1	1	5	1.9%
⑧その他工場・事業所等	6	3	12	21	7.9%
全事業所数(1+2)	100	37	116	253	94.8%
⑨公共的施設	6	0	8	14	5.2%
総 合 計	106	37	124	267	100.0%
(構成比)	39.7%	13.9%	46.4%	100.0%	

注1) サービス業:組合、塾・教室、設計・会計事務所、クリーニング店、パチンコ店等

注2) その他工場・事業所等:運輸業、建設業、卸売業、製造業等

#### ■ 街区別各種店舗・事業所等の分布



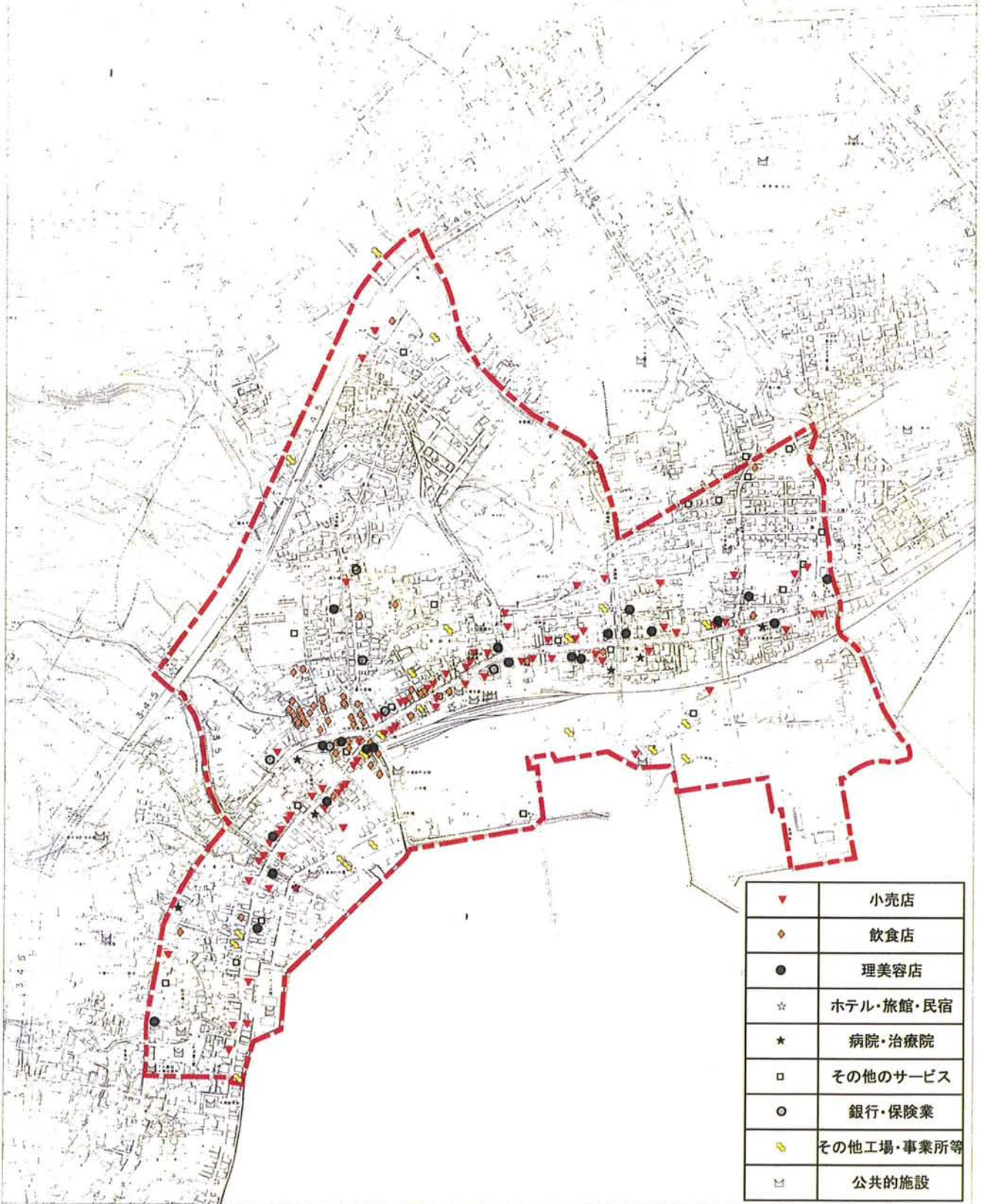
### ④ 空き店舗の状況

商店街区の空き店舗数は下表のとおりです。大湊浜町で空き店舗が目立っています。

#### ■ 商店街区の空き店舗

	平成9年度	平成12年度	増 減
大湊駅前	4	3	-1
大湊浜町	2	5	3
合 計	6	8	2

■大湊地区 店舗分布状況図



むつ市中心市街地活性化基本計画

1:10000

### (10) 周辺地域における関連プロジェクト

大湊地区に関連が深いプロジェクトとしては、仮称ウエルネスパーク整備事業と釜臥山スキー場拡幅事業があります。

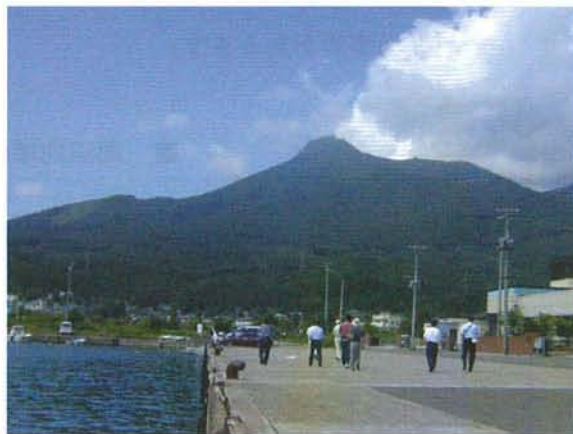
#### ■ 周辺地域における関連プロジェクト

事業名	仮称ウエルネスパーク整備事業	釜臥山スキー場拡幅事業
整備予定地	大湊地区大平埋め立て地（県有地）	釜臥山
予定施設等	① 克雪ドーム ② センターハウス ③ 屋内レジャープール ④ 芝生広場 ⑤ パークゴルフ場 ⑥ インラインスケート広場 ⑦ ストリートバスケット広場 ⑧ 親水広場 ⑨ アクセス道路 など	① 初心者用コース ② ペアリフト1基 など
完成予定年度	早期実現をめざす	平成15年度を予定

(11) 写真でみる大湊地区の現況



斗南藩士（旧会津藩士）上陸の地。  
案内版等が不足しており存在が分かりづらい。  
歩道や修景整備などが十分でない。



海岸（大湊新町）から釜臥山を望む。



むつ市公民館。  
地域住民の諸活動、交流の場となっている。



大湊駅裏の東北砂鉄跡地。



大湊駅前。  
左手が駅舎、中央の建物がJRのホテル“フォルクローロ大湊”。



野球場跡地。  
現在は未利用のまま放置されている。



大湊浜町商店街。  
道路はそれほど広くないが、車の交通量が少なく、比較的歩きやすい。



連絡2号線（船見坂）。  
大湊地区には坂道が多い。主要な坂道にはそれぞれ洒落た名前がついている。



大湊駅前通り商店街。  
人通りもまばらで、シャッターを下ろしたままの店も目立つ。



大湊駅前通り商店街。  
車の交通量が多い。  
歩道がなく路上駐車が多いため歩きづらい。



金比羅神社・近川稲荷神社。  
敷地内で湧水が飲めるようになっている。



大平神明宮。



## (12) 大湊地区の現況特性と問題点(まとめ)

これまでの調査結果を踏まえ、大湊地区の現況特性と問題点を総括すると、次のようになります。

### ● 海と市街地との関係が希薄である

大湊湾に面する大湊地区は、斗南藩士(旧会津藩士)上陸の地であり、また旧海軍時代には、人口約10万人のまちとして栄えたように、元来より、海との関係が深いまちです。

しかし現在は、海側へのアクセス道路の不備や広大な未利用地の介在などにより、市街地(特に商店街)と海との関係が希薄化しており、海の存在を感じにくいまちとなっています。

今後は、地区の貴重な自然資源である“海”をまちづくりに最大限活用していくことが必要です。

### ● 駅裏に広大な未利用地がある

JR大湊線南側には工場跡地があり、未利用のまま放置されています。

この広大な敷地は、地形的な制約などから利用可能地が少ない大湊地区にとって、様々な土地利用展開が期待できる貴重な空間です。

市街地と海との連携強化のため、また商店街活性化の起爆剤として、この土地の有効活用を検討していく必要があります。

### ● 商店街の賑わいが失われつつある

道路沿道に形成されてきた大湊地区の商店街は、消費者ニーズの多様化、郊外型大型店舗の進出や、以下に示す商店街に内在する諸問題が複雑に絡み合っ、活力が徐々に低下する傾向にあります。

- ・ 歩きにくい道路
- ・ 駐車場の量、質の問題
- ・ 商店街としての統一感の欠如
- ・ 個店の魅力の低下(価格、品揃えなど)
- ・ 営業時間等の問題
- ・ 経営者の高齢化、後継者不足
- ・ 空き店舗の増加

今後は、商業者一人ひとりがこのような問題を十分に認識し、商店街が一体となって、まちの再生に向けた取り組みを率先して実行していく必要があります。

### ● 釜臥山を望む緑豊かな地であるが、身近な公園・緑地が少ない

大湊地区は、背後に釜臥山を控える緑豊かな地区ですが、お年寄りや子供達が気軽に集える身近な公園・緑地が不足しています。

今後は、野球場跡地や市街地に点在する未利用地などを活用しながら、公園やポケットパークなどを積極的に整備する必要があります。

また、願求院裏の樹林地は、市街化の進展とともに緑が減少してしまった地区にとって、貴重な緑地であり、その保全が望まれます。

### ● 南北方向の道路が不足している

大湊地区では、東西方向には国道 338 号やバイパスが走っており、商店街における歩行空間の不足などの問題はありますが、それなりに機能を果たしています。

しかし、南北方向については地形条件や鉄道などの関係で、連絡する道路が全般的に不足しており、特に、バイパスと商店街を結ぶ道路や商店街と海を結ぶ道路などの整備が必要です。

### ● 歴史や文化が感じられない

大湊地区には、金比羅神社、神明宮、願求院、斗南藩士（旧会津藩士）上陸の碑や大湊ネブタ祭などの有形無形の歴史・文化的資源、さらには海軍のまちとして栄えた歴史があります。

しかし、案内性及びアピールの不足もあって、これらの貴重な歴史や文化をまちなかで感じることは少ない状況となっています。

今後は、個々の資源に磨きをかけるとともに、案内性やアピール性の向上を図りながら、まちづくりに活用していくことが必要です。

### ● スキー場や克雪ドームなどの玄関口として十分な機能を果たしていない

大湊地区の周辺では、釜臥山スキー場の拡充や克雪ドームの建設などが計画されており、今後、観光レクリエーション機能が高まることが期待されます。

しかし、現在の大湊駅周辺は、この変化を十分に受け止められるだけの機能を備えているとは言えません。

今後は、これら施設との連携強化や情報交流、観光商業、サービス、宿泊など各種機能の充実を進め、観光レクリエーションの玄関口にふさわしい空間づくりを目指していく必要があります。



## 中心市街地の位置及び区域

5



## 5. 中心市街地の位置及び区域

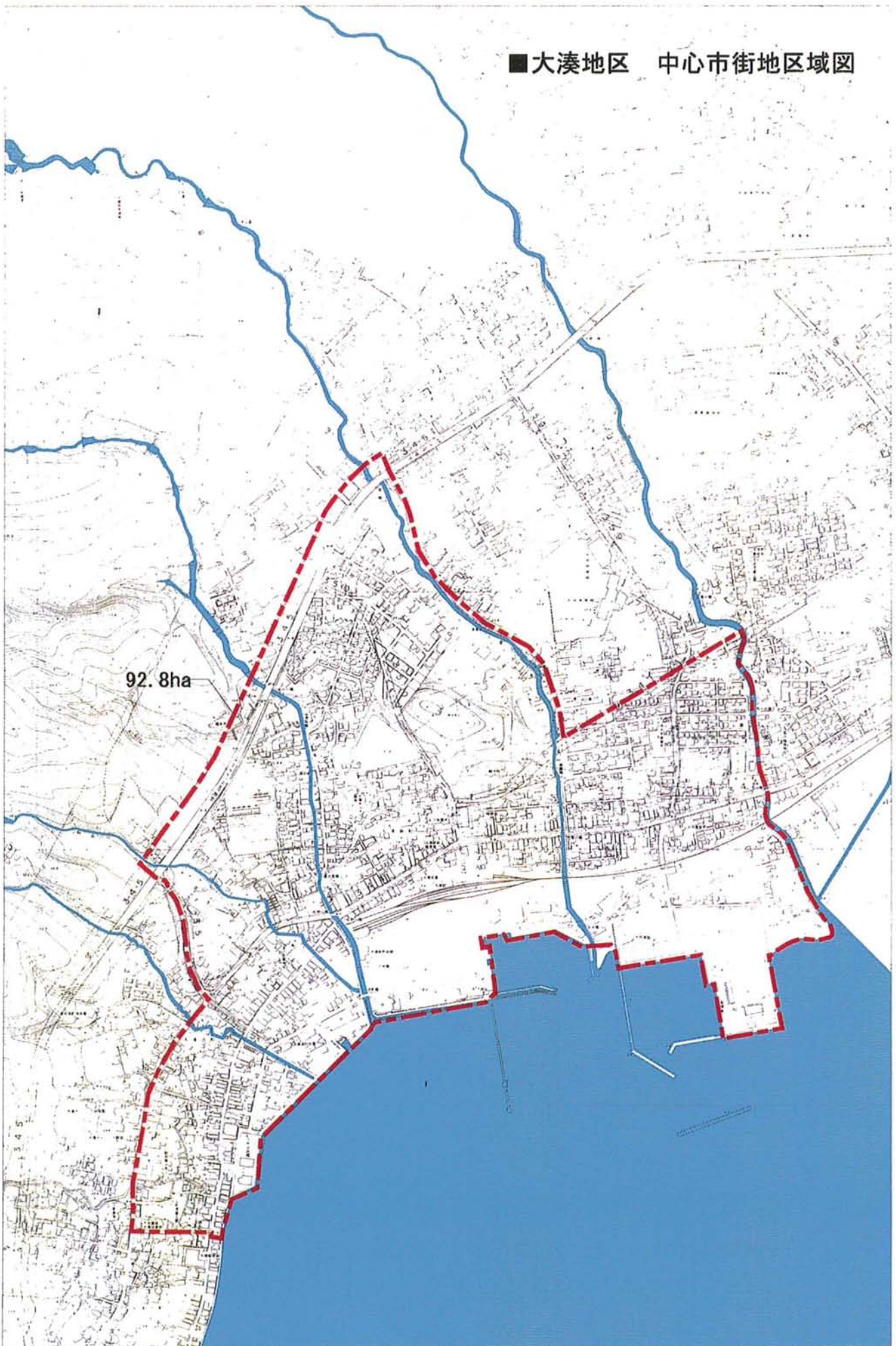
中心市街地の要件として、「中心市街地整備改善活性化法」において以下の3つの要件が掲げられています。

- ① 集積要件・・・当該市街地に、相当数の小売商業者が集積し、及び都市機能が相当程度集積しており、その存在している市町村の中心としての役割を果たしている市街地であること。
- ② 趨勢要件・・・当該市街地の土地利用及び商業活動の状況等からみて、機能的な都市活動の確保又は経済活力の維持に支障を生じ、又は生じるおそれがあると認められる市街地であること。
- ③ 広域効果要件・・・当該市街地において市街地の整備改善及び商業等の活性化を一体的に推進することが、当該市街地の存在する市町村及びその周辺の地域の発展にとって有効かつ適切であると認められること。

前述までの現況特性と問題点等の分析から、商業集積、土地利用及び商業活動の状況、市街地としての一体性などを総合的に勘案して、大湊地区における中心市街地の区域を、次図に示す区域（面積 約 92.8 ha）としました。

すなわち、集積要件をベースとして、ワークショップにおける意見も踏まえ、商業系用途地域（既存商店街）や地区の重要な資源である海辺、野球場跡地、願求院裏の樹林地を包含しつつ各要件を満たす区域を中心市街地とし、かつ市街地としての一体性を考慮しながら、道路、河川、海岸など明確なラインが境界となるようにしました。

■大湊地区 中心市街地区域図



むつ市中心市街地活性化基本計画

1:10000

## 中心市街地活性化の目標と基本方針





## 6. 中心市街地活性化の目標と基本方針

### (1) 目標テーマ

区域の特性やワークショップでの提案を踏まえ、中心市街地がめざすべき目標テーマを次のように設定しました。

**潮風さわやか 大湊**

### (2) 活性化の基本方針

将来像を具体化し活性化を図るための基本方針を次のように設定しました。

- 海と親しめるまちをつくろう
- 観光レクリエーションの玄関口として、たくさんの人が集まる駅にしよう
- 楽しく歩ける商店街にしよう
- 人や自然に優しい暮らしやすいまちをつくろう
- まちの資源をアピールし、まちに対する愛着を育てよう

#### ● 海と親しめるまちをつくろう

区域最大の資源である“海”をテーマとした海沿いの散策公園などの整備を図り、子供からお年寄りまで誰もが海と親しめる空間をつくります。

海をより一層身近な存在とするため、山側市街地と海側市街地とを結ぶ交通路などの整備を図ります。

#### ● 観光レクリエーションの玄関口として、たくさんの人が集まる駅にしよう

大湊駅周辺を、スキー場や克雪ドームなど周辺観光レクリエーションの玄関口として、また新幹線延伸をにらんだ下北観光の新たな玄関口として位置づけ、駅舎の改築や周辺の整備を図り、たくさんの人が集まる空間を創出します。

#### ● 楽しく歩ける商店街にしよう

ゆとりある歩行空間や駐車スペースの確保、景観整備や緑化、空き店舗の活用、イベントやサービスの充実などを総合的に実施し、賑わいのある楽しく歩ける商店街をめざします。

#### ● 人や自然に優しい暮らしやすいまちをつくろう

高齢化や環境問題に配慮しつつ、公園・緑地、生活道路、下水道など都市基盤施設の整備を行うとともに、海、山に囲まれた地区特性を活かした良好な住宅への改良・供給を進め、人や自然にやさしいまちをめざします。各種施設の整備に際しては、高齢者や障害者に配慮して段差の解消や手すりの設置などを行い、バリアフリー化を進めます。

## ● まちの資源をアピールし、まちに対する愛着を育てよう

由緒ある寺社仏閣、斗南藩士（旧会津藩士）上陸の地、旧海軍のまち、大湊ネブタ、豊富な地下水、坂道など、地域が育み、地域発展の原動力となってきた様々なまちの資源の保全と活用を広くアピールしていきます。これらを地域住民が主体となって行い、まちに対する愛着の醸成に努めます。

### (3) ゾーニングとまちづくりの方針

地区の特性を踏まえながらゾーニングを行い、ゾーン毎のまちづくりの方針を整理しました。

## ● 大湊駅周辺ゾーン

大湊駅周辺は、海側市街地と山側市街地の一体化を推進する上で要となるゾーンであり、商店街との連携のもと活性化を先導していく中核ゾーンと位置づけ、大湊駅舎の改築、駅裏未利用地の有効利用などを積極的に推進します。

商店街との関係に配慮しながら、駅舎機能のほか、情報交流、行政サービス、物販、飲食、イベント、休憩など、様々な都市機能の導入を検討していきます。

## ● 沿道商業ゾーン

大湊浜町商店街、大湊駅前商店街、飲食街が集積する主要道路沿道を沿道商業ゾーンとして位置づけます。

商店街を中心に、快適な歩行空間や駐車スペースの確保、景観の整備、空き店舗の活用、イベントやサービスの充実などを総合的に実施し、賑わいのある商業空間の形成をめざします。

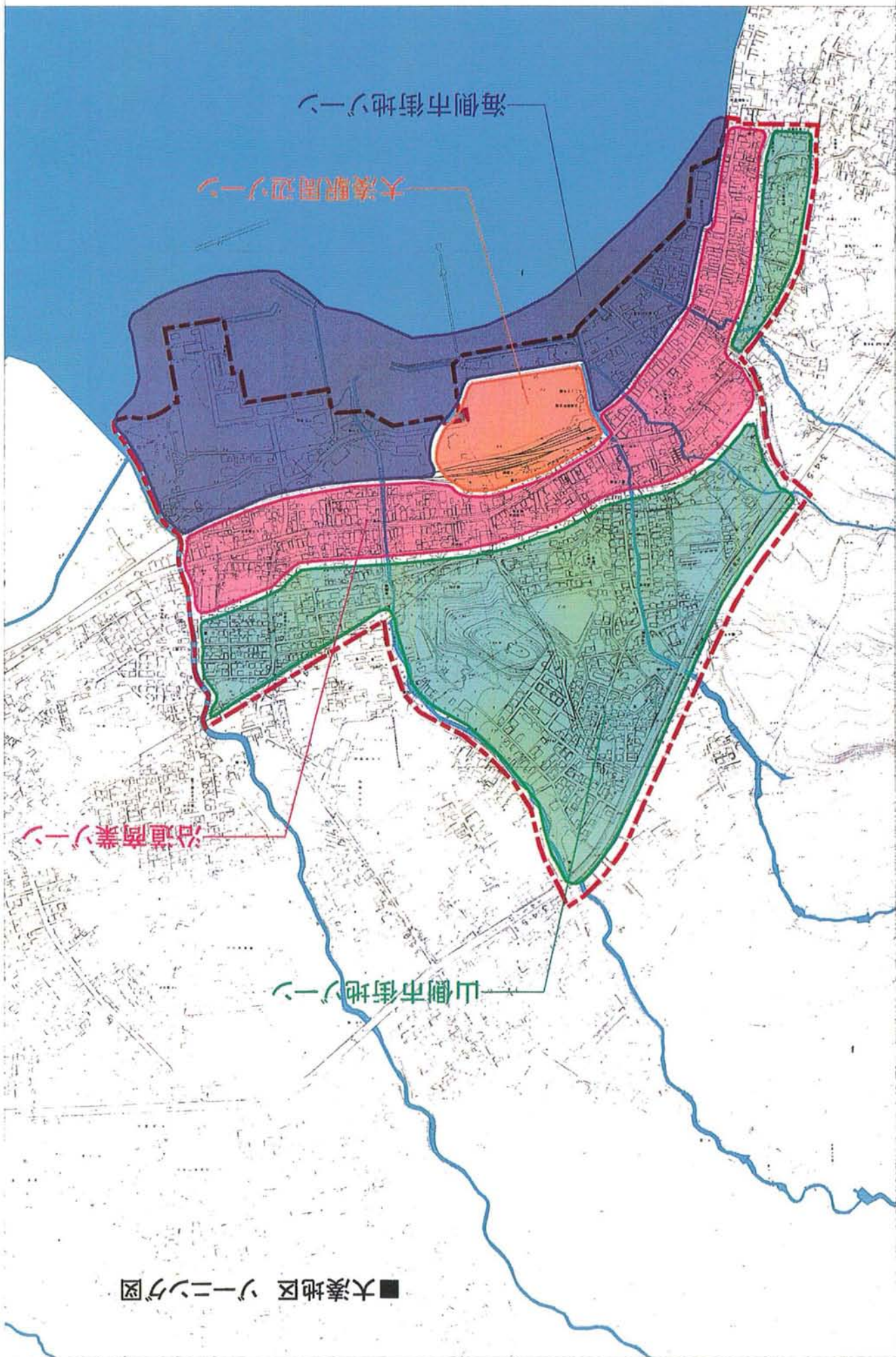
## ● 海側市街地ゾーン

港湾施設があり、克雪ドームなどの仮称ウェルネスパークが整備される大平埋め立て地との連携に配慮しながら、海沿いを散策できる公園など、海に親しめる空間づくりを行うとともに、商店街へのアクセス性を高めるため道路など、都市基盤施設の整備を進め、良好な市街地の形成をめざします。

## ● 山側市街地ゾーン

道路などの都市基盤施設の整備を進め、緑豊かな居住系市街地の形成をめざします。

地形的な制約もあって、整備の遅れている南北を連絡する道路の整備を進めます。また、野球場跡地の活用や願求院裏の樹林地の保全などを進め、地域住民や来訪者の憩いの場を確保していきます。



■大湊地区ゾーンニシテ図



## 中心市街地活性化のための事業



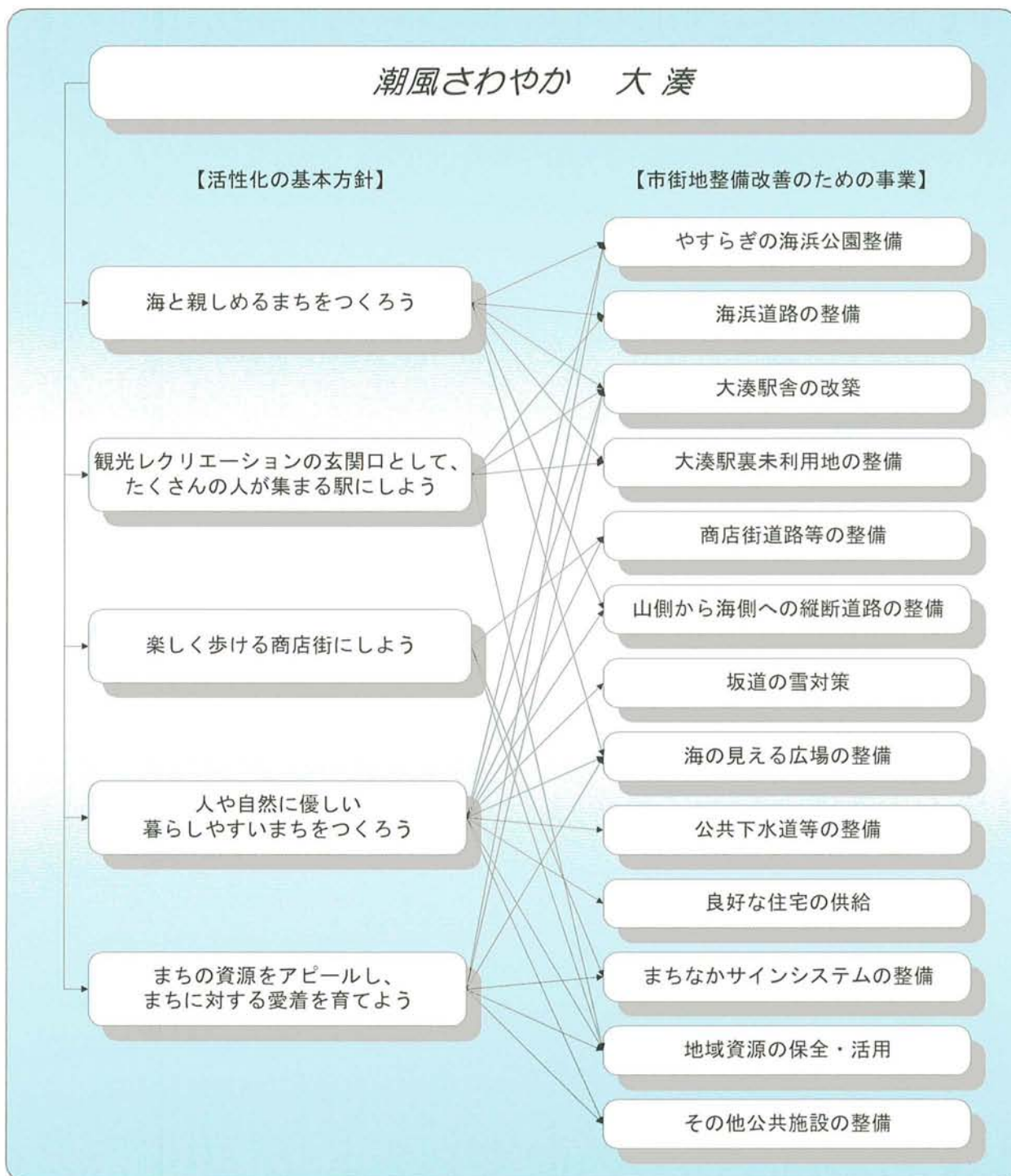
## 7. 中心市街地活性化のための事業

本基本計画に則り、中心市街地活性化を図るために具体的な検討に入るべき事業を“市街地整備改善のための事業”と“商業等活性化のための事業”に区分をしました。

また、事業時期については、概ね5年以内に着手が想定されるものを前期、それ以降のものを後期としました。

### (1) 市街地整備改善のための事業

#### ■ 市街地整備改善のための事業の体系







■ 市街地整備改善のための事業

事業名	内容	事業の位置	想定される事業手法	事業主体	実施時期		備考
					前期	後期	
やすらぎの海浜公園整備	大湊地区の海岸線一帯において、海沿いを快適に歩ける「海風の散歩道」、釣りなどが楽しめる「海釣り公園」などの整備や、「斗南藩土上陸の地」の休憩施設などの整備により、子どもからお年寄りまで誰もが海と親しみ、楽しめるような空間づくりの展開。	海岸線一帯	街づくりと連携したウォーターフロントの整備など	青森県、むつ市など	●	●	
海浜道路の整備	港湾施設、交流・レクリエーション区域である太平埋立地から大湊駅裏へのアクセス性を高めるため、海沿いの道路を整備。	海岸周辺	港湾整備事業など	青森県、むつ市など	●	●	
大湊駅舎の改築	老朽化している駅舎の建て替え。駅舎を大湊地区中心市街地活性化の中核的な施設として位置づけ、駅舎機能のほか高齢者などにも配慮した、情報、交流、行政サービス、物産販売など多様な機能の導入を検討。商店街と駅裏の未利用地とが行き来できるような歩行者通路を確保。	大湊駅周辺	中心市街地再活性化特別対策事業など	むつ市、民間事業者など	●		
大湊駅裏未利用地の整備	大湊駅を中心とした活性化拠点づくりのため、大湊駅裏未利用地に、シーフードグルメレストラン、ベイマーケットなど海をメインテーマにした、地域住民が気軽に集い、楽しめる、魅力ある空間づくりの展開。	大湊駅周辺	街づくりと連携したウォーターフロントの整備、中心市街地活性化広場公園整備事業、中心市街地再活性化特別対策事業など	むつ市、民間事業者など		●	
商店街道路等の整備	楽しく歩ける商店街を目指し、高齢者・障害者などにやさしい快適な歩行空間や街並み景観などの整備。	商店街内	賑わいの道づくり事業、特定交通安全施設等整備事業など	青森県、むつ市、民間事業者など		●	
山側から海側への縦断道路の整備	市街地としての一体性を高めるため、国道338号バイパスから海岸線に至る、南北縦断道路の整備。	中心市街地内	道路改良事業など	むつ市		●	
坂道の雪対策	冬期間における坂道の交通安全や生活利便性を高めるため、融雪設備を整備。	中心市街地内	道路改良事業など	むつ市	●		
海が見える広場の整備	海が見える高台にある野球場跡地を地域住民や商店街来訪者への憩いの広場として活用。	中心市街地内	中心市街地活性化広場公園整備事業、中心市街地再活性化特別対策事業など	むつ市		●	
公共下水道等の整備	生活排水による河川、海などの汚濁を防止し、快適な環境を維持・保全していくため、公共下水道などの計画的な整備。	中心市街地全般	公共下水道事業など	むつ市		●	
良好な住宅の供給	定住人口の増加を図り、賑わいのあるまちづくりのため、多様な階層やニーズに対応した良好な住宅への改良・供給。	中心市街地全般	特定優良賃貸住宅供給促進事業、高齢者向け優良賃貸住宅制度、住宅市街地整備総合支援事業など	むつ市、民間事業者など	●	●	
まちなかサインシステムの整備	観光客などの市街地への誘導と回遊性の向上を図るため、より効果的なサインシステムを検討。 各種施設などの整備にあわせた案内板の改善や新規設置。	中心市街地全般		むつ市、民間事業者など	●	●	
地域資源の保全・活用	神社、仏閣などの多様な歴史文化資源の保全・活用。 願求院裏の樹林地は、まちなかでは貴重な緑地であり、保全を基本として、散策路などの整備を図り、地域住民が自然とふれあうことができる憩いの場として活用を検討。	中心市街地全般		むつ市、市民ボランティアなど		●	
その他公共施設の整備	生活利便性の高い魅力的な市街地の形成を図るため、保育、高齢者福祉施設、各種資料館などの整備検討。 高齢者・障害者に配慮した、段差の解消・手すりの設置などによる施設のバリアフリー化。	中心市街地全般		むつ市など		●	

# 市街地整備改善のための事業

山側から海側への縦断道路の整備

海に見える広場の整備

大湊駅舎の改築

商店街道路等の整備

坂道の雪対策

海浜道路の整備

大湊駅裏未利用地の整備

やすらぎの海浜公園整備

中心市街地全体に関するもの

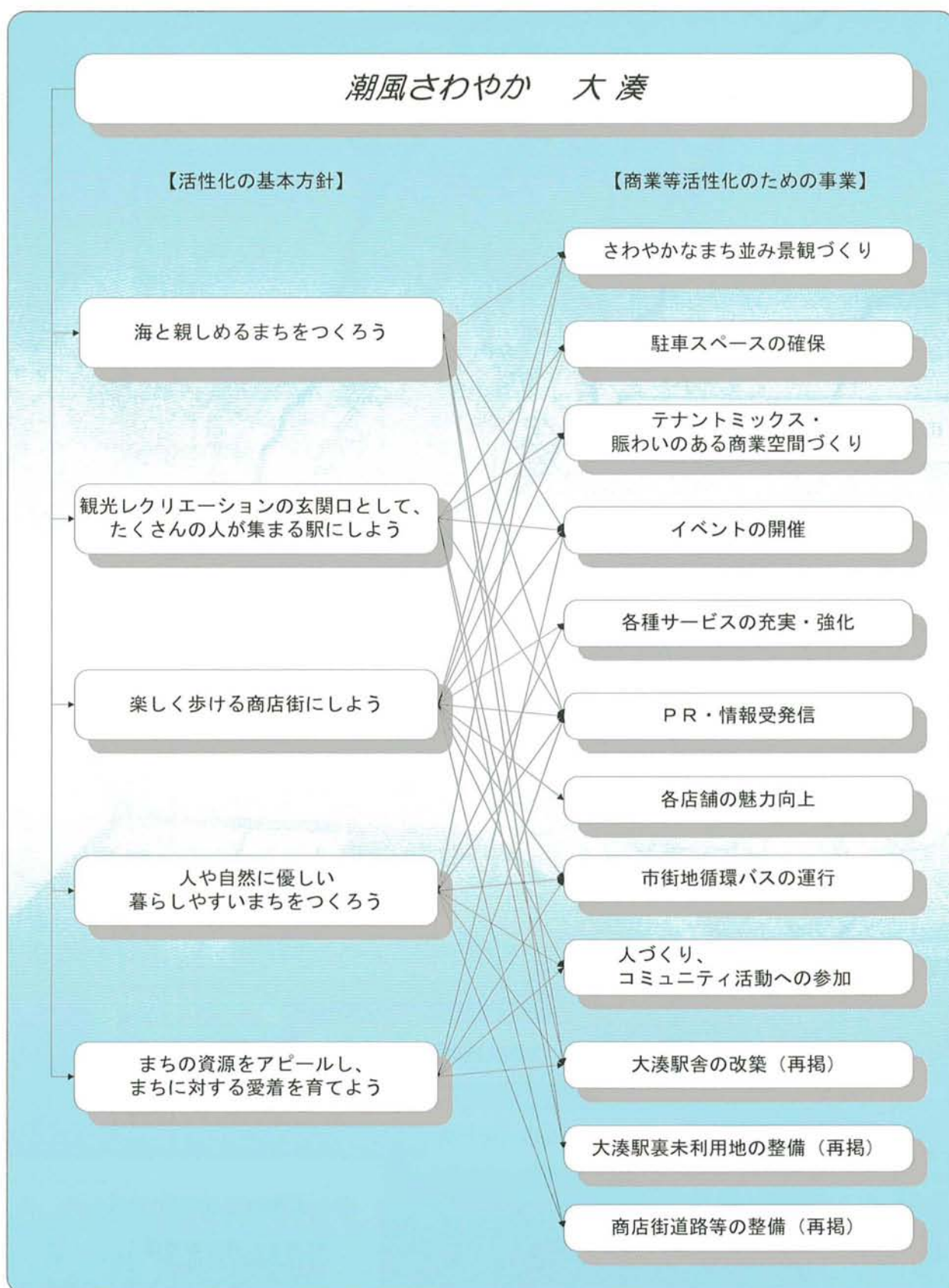
公共下水道等の整備  
良好な住宅の供給  
まちなかサインシステムの整備  
地域資源の保全・活用  
その他公共施設の整備

むつ市中心市街地活性化基本計画

1:10000

## (2) 商業等活性化のための事業

### ■ 商業等活性化のための事業の体系



■ 商業等活性化のための事業

事業名	内容	事業の位置	想定される事業手法	事業主体	実施時期		備考
					前期	後期	
さわやかなまち並み景観づくり	海辺のまちにふさわしい、さわやかなまち並み景観を形成するための景観整備や緑化の推進。	商店街内	中心市街地等商店街・商業集積活性化施設等整備事業など	TMO、商店街など	●	●	
駐車スペースの確保	車での来訪客に配慮した、既存駐車場の有効活用や共同駐車場の整備。	商店街内	中心市街地等商店街・商業集積活性化施設等整備事業など	TMO、商店街など	●	●	
テナントミックス・賑わいのある商業空間づくり	空き店舗などの活用や広場・休憩スペースの確保などにより、賑わいのある商業空間づくり。	商店街内	空き店舗対策事業、中心市街地商業活性化推進事業など	TMO、商店街など	●	●	
イベントの開催	賑わいのある楽しいまちとするために、商店街が連携を取りながら、各種イベントの積極的な実施。	商店街内	商店街等活性化事業など	TMO、商店街など	●	●	
各種サービスの充実・強化	市街地への集客力を高め、各個店の魅力づくりのため、各種サービスの充実・強化。	商店街内	商店街等活性化事業など	TMO、商店街など	●	●	
PR・情報発信	商店街の情報（お店、商品、イベントなど）やまちづくりに関する様々な情報を各種のメディアを通じての発信。 地場産品を活用した大湊ならではの商品開発などを行い、潮風さわやかな大湊を積極的にアピール。	商店街内	中心市街地商業活性化推進事業など	TMO、商店街など	●	●	
各店舗の魅力向上	消費者のニーズに対応した魅力的な店となるよう、接客態度、営業時間などの改善。また、商品配列の工夫、店舗改装、業種・業態の見直しなどの検討。	商店街内	中小小売商業高度化事業など	TMO、商店街など	●	●	
市街地循環バスの運行	中心市街地へのアクセス性を高め、環境や人に優しいまちづくりを推進するための市街地循環バスの運行。	中心市街地及び周辺	バス利用促進等総合対策事業など	TMO、バス事業者など	●	●	
人づくり、コミュニティ活動への参加	地域住民や事業者が主体的にまちづくりに参加できるような人材育成や意識啓発の実施。 地域住民とのコミュニケーションを図るため、祭りや日常的なコミュニティ活動の支援。	中心市街地全般	タウンマネージャー養成派遣事業、中心市街地商業活性化推進事業など	TMO、商店街など	●	●	
大湊駅舎の改築	老朽化している駅舎の建て替え。駅舎を大湊地区中心市街地活性化の中核的な施設として位置づけ、駅舎機能のほか高齢者などにも配慮した、情報、交流、行政サービス、物産販売など多様な機能の導入を検討。商店街と駅裏の未利用地とが行き来できるような歩行者通路を確保。	大湊駅周辺	中心市街地再活性化特別対策事業など	むつ市、民間事業者など	●		再掲
大湊駅裏未利用地の整備	大湊駅を中心とした活性化拠点づくりのため、大湊駅裏未利用地に、シーフードグルメレストラン、ベイマーケットなど海をメインテーマにした、地域住民が気軽に集い、楽しめる、魅力ある空間づくりの展開。	大湊駅周辺	街づくりと連携したウォーターフロントの整備、中心市街地活性化広場公園整備事業、中心市街地再活性化特別対策事業など	むつ市、民間事業者など		●	再掲
商店街道路等の整備	楽しく歩ける商店街を目指し、高齢者・障害者などにやさしい快適な歩行空間や街並み景観などの整備。	商店街内	賑わいの道づくり事業、特定交通安全施設等整備事業など	青森県、むつ市、民間事業者など		●	再掲

## 商業等活性化のための事業

中心市街地全体に関するもの

市街地循環バスの運行  
人づくり、コミュニティ活動への参加

大湊駅舎の改築（再掲）

大湊駅裏未利用地の整備（再掲）

さわやかなまち並み景観づくり  
駐車スペースの確保  
テナントミックス・賑わいのある商業空間づくり  
イベントの開催  
各種サービスの充実・強化  
PR・情報発信  
各店舗の魅力向上  
商店街道路等の整備（再掲）



**事業の一体的推進に向けて**

**8**





## 8. 事業の一体的推進に向けて

ここでは、市街地の整備改善及び商業等の活性化の一体的推進のために必要な方策について整理しました。

### (1) TMO構想の策定とTMOの設立

中心市街地活性化に関する事業のうち、特に商業等の活性化に関する事業を推進していくためには、まちづくりを総合的にプロデュースするTMOの役割が重要になります。

事業の推進に向け、むつ市においても、TMO構想（中小小売商業高度化事業構想）を策定するとともに、TMOを設立していく必要があります。

#### ■ TMOとは

TMO (Town Management Organization) とは、中心市街地における商業集積の一体的かつ計画的な整備（テナント配置、基盤整備、ソフト事業など）をマネージ（運営・管理）する機関です。

すなわち、様々な主体が参加するまちの運営を横断的・総合的に調整し、プロデュースする機関です。

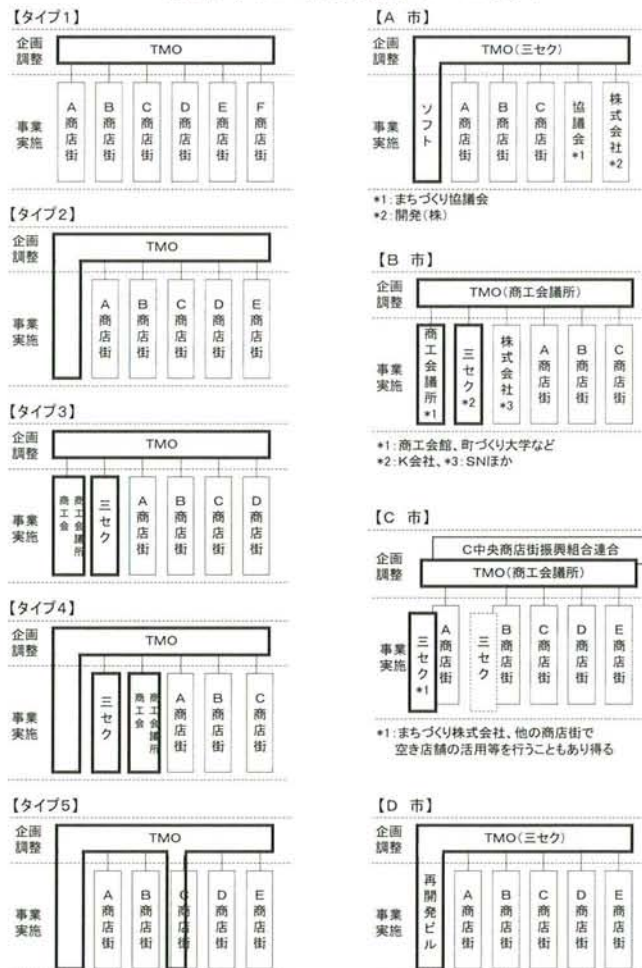
TMOが具体的にどのような機関で、どのようなプロジェクトに取り組むかは、TMOになるようとする機関が策定するTMO構想（中小小売商業高度化事業構想）を市町村が認定することによって、決定されます。

TMOが具体的にすることとしては、関係者のコンセンサスの形成、TMO構想・計画の作成、事業の推進などがあります。

TMOになりうる組織としては、“商工会”“商工会議所”“第3セクター特定会社”“第3セクター公益法人”などがあります。

#### 【TMO組織体制と各地の事例】

（資料：まちづくり事業企画マニュアル）



注：上図内の三セクとは、特定会社や公益法人を指す

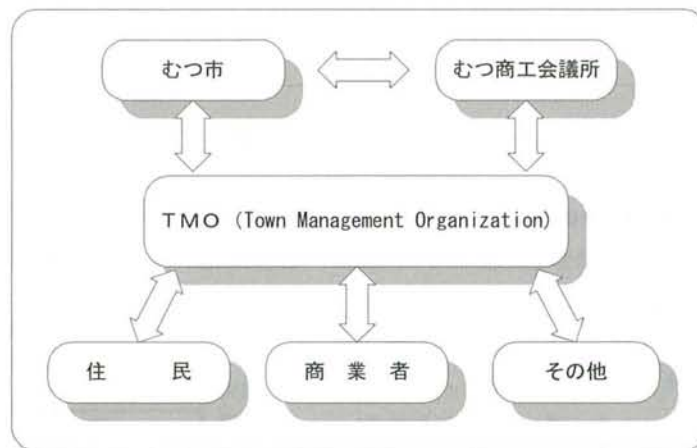
## (2) 関係機関などの協力体制の確立

多くの人や機関が関わる中心市街地の活性化を円滑に推進していくためには、国、県、市、商工会議所、商店街、住民などが十分に情報交換を行い、相互に連携・協力し各種事業を進めていく必要があります。

このため、今後は市及び商工会議所が中心となって、次図のような組織体制を確立し、各種事業の調整や事業進捗の確認等を定期的に行うことが望まれます。

庁内的には、TMO などの関係機関との協議・調整や市が主体的に実施する事業に関して各種検討などを行う中心的な組織として中心市街地活性化事業推進委員会を設置します。

### ■ 中心市街地活性化事業の推進体制（案）



## (3) 市民の理解と積極的な参加、協力

基本計画づくりの段階では、ワークショップを開催するなど市民意向の把握と計画への反映に努めてきましたが、今後の事業推進にあたっては、中心市街地のまちづくりに関して、市民の理解と積極的な参加、協力が得られるような対応が必要です。

## (4) 事業への取り組み姿勢 ～できることから始め、目に見える形にする～

本計画で提示した事業全てを実現するには膨大な費用とエネルギーを必要とし、全てを一時期に実施することは困難です。

当面は、どんな小さなことでもいいから、できることから始め、結果を目に見える形にすることが大切です。そして、それらの積み重ねによって、より大きな取り組みへと発展させていくことが望まれます。

## 参考資料





## 市民意向（既往調査結果から）

ここでは「むつ市民意識調査」及び「街づくり意識調査」から、中心市街地活性化に関連する部分を抜粋して紹介します。

### （１）むつ市民意識調査（むつ市：平成11年11月）

- ・ 対象：むつ市内に在住する高校性以上の男女
- ・ 配付数：2,113部 / 回収数：1,582部
- ・ 回答率：74.9%

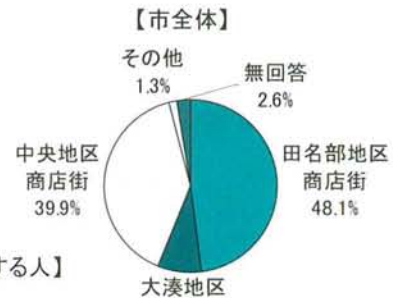
むつ市の発展を図る上で特に力を入れて振興して欲しいと思う産業は何ですか

- ・ 「観光資源を活かした観光の振興」が41%と最も多く、次いで「商業の振興」が22%となっています。

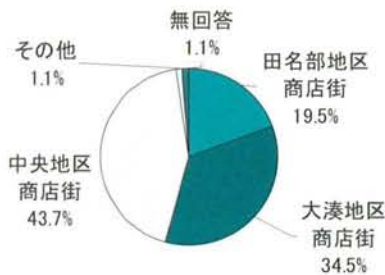


市内で買い物するときには、どの地域が最も多いですか

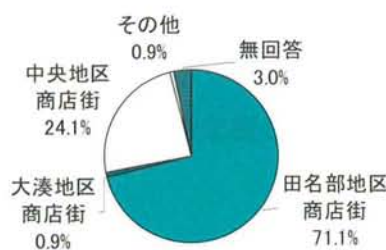
- ・ 市全体では「田名部地区商店街」が48%、「中央地区商店街」が40%、「大湊地区商店街」が8%の順になっています。
- ・ 居住地別では、田名部中心部に居住する人の71%は地元の商店街を利用しているのに対し、大湊中心部に居住する人は35%しか地元の商店街を利用していません。



【大湊・市街地中心部に居住する人】

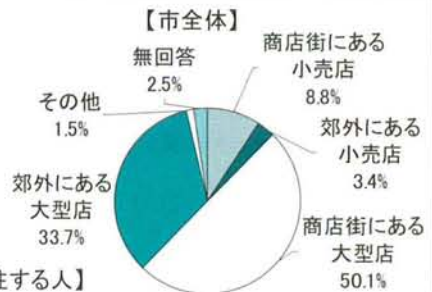


【田名部・市街地中心部に居住する人】

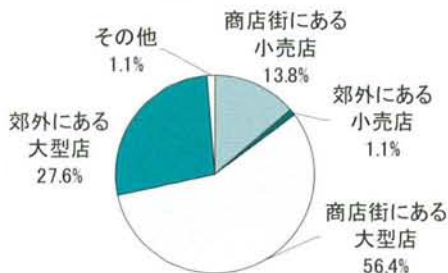


主にどのような店で買い物をしますか

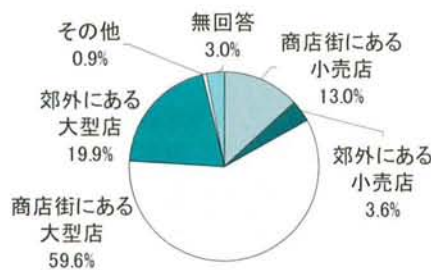
- ・ 市全体では「商店街にある大型店」が約半分を占め、次いで「郊外にある大型店」となっています。
- ・ 田名部、大湊も同様の傾向にあります。大湊のほうが、「郊外にある大型店」を利用する割合がやや高くなっています。



【大湊・市街地中心部に居住する人】



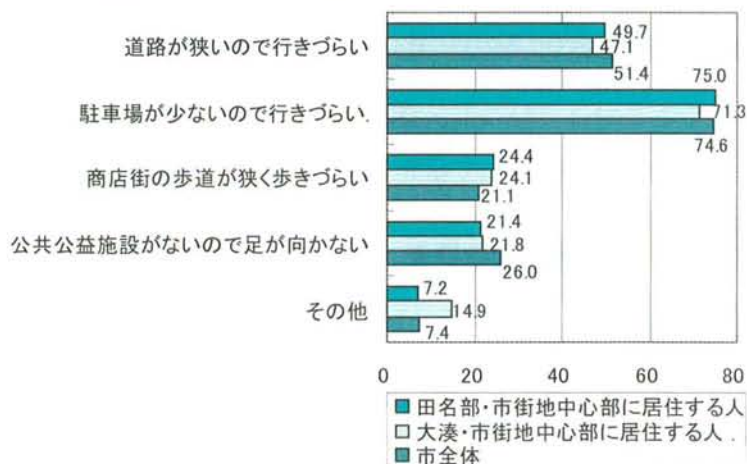
【田名部・市街地中心部に居住する人】



市の市街地商店街に何が不足しているから人が集まらないとお考えですか

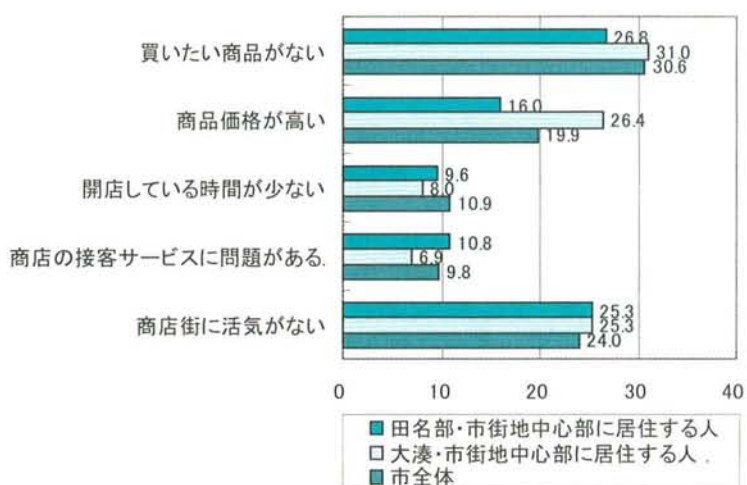
●商店を取り巻く環境面  
(複数回答)

- 市全体では、「駐車場が少ないので行きづらい」が75%と最も多く、次いで「道路が狭いので行きづらい」、「公共の施設がないので足が向かない」となっています。
- 地区毎に大きな違いは見られません。



●商店街の魅力面 (複数回答)

- 市全体では、「買いたい商品が少ない」が31%と最も多く、次いで「商店街に活気がない」が24%、「商品価格が高い」が20%の順となっています。
- 大湊地区は「商品価格が高い」という回答割合が高くなっています。



(2) 街づくり意識調査 (むつ商工会議所：平成11年10月)

- 対象：むつ商工会議所会員
- 配付数：1,396企業 / 回答数：421企業
- 回答率：30.2%

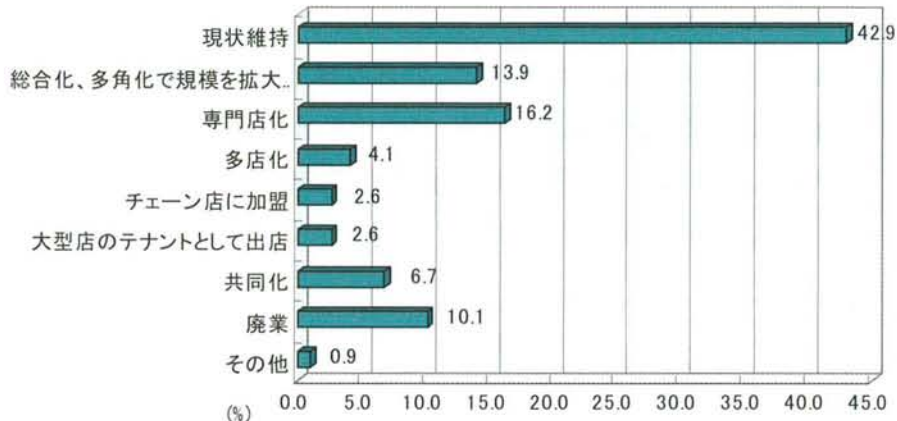
経営上の問題点として考えられるものは何ですか (事業者のみ回答)

- 経営上の問題として、売上・利益の減少、大型店の影響、競争の激化、消費者ニーズの変化等が多くあげられています。



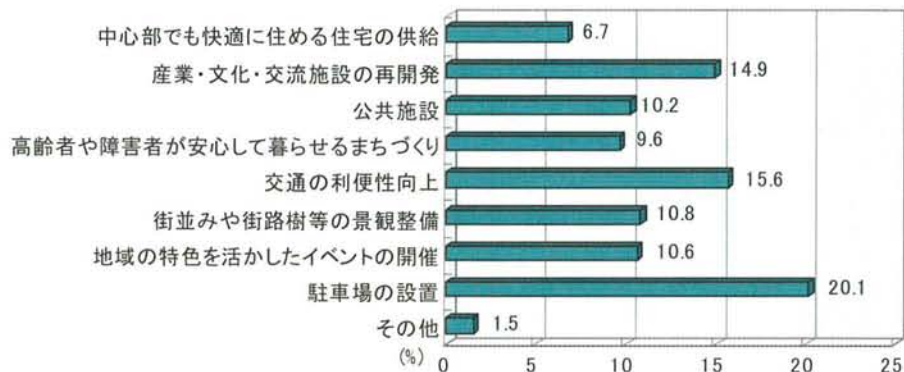
今後の経営方針についてお答え下さい

- 「現状維持」が43%と最も多くなっていますが、「専門店化」16%、「規模拡大」14%など、何らかの方法で生き残りを考えている経営者も多くみられます。その一方で、「廃業」を考えている人も10%います。



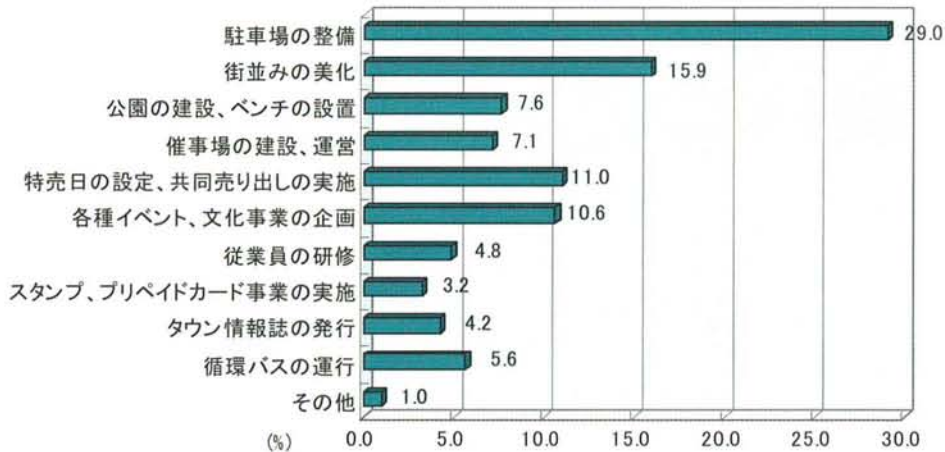
むつ市の中心市街地の活性化について、将来どんな機能を重視すべきと考えますか

- 「駐車場の設置」20%、「交通の利便性向上」16%、「産業・文化・交流施設の再開発」15%の順となっています。商店街だけでなく、多岐にわたった街づくりが要求されています。



商店街の活性化対策として具体的に行っていただきたいことは何ですか

- 「駐車場の整備」が29%と最も高く、次いで「街並みの美化」「特売日の設定、共同売り出しの実施」「各種イベント、文化事業の企画」などとなっています。





## ワークショップ結果概要

### (1) ワークショップのあらまし

一般市民や商業者の意見などを基本計画に十分反映させるため、また、作業部会部員が中心市街地に対する現状認識を高め、計画原案を作成するため、ワークショップを行いました。

大湊地区、田名部地区について、それぞれ2回、計4回のワークショップを開催しました。

ワークショップには「むつ市中心市街地活性化作業部会」の部員及び地元の高校生が参加し、活発な議論を展開しました。

#### ■ ワークショップの開催概要

	日時・会場	テーマ	メンバー
第1回	平成12年7月27日(木) 10:00～15:30 (プラザホテルむつ)	大湊地区市街地の衰退の原因と活性化のための資源を探る ・ 現地探索 ・ 地区の特性と問題点の把握	作業部会部員  29名
第2回	平成12年8月2日(水) 10:00～15:30 (ホテルニューグリーン)	田名部地区市街地の衰退の原因と活性化のための資源を探る ・ 現地探索 ・ 地区の特性と問題点の把握	作業部会部員  27名
第3回	平成12年8月23日(水) 13:30～16:30 (プラザホテルむつ)	大湊地区の活性化を考える ・ 活性化のためにすべきことの検討 ・ 将来像(キャッチフレーズ)の検討 ・ 区域の検討	作業部会部員 大湊高校の生徒  34名
第4回	平成12年9月6日(水) 13:30～16:30 (むつランドホテル)	田名部地区の活性化を考える ・ 活性化のためにすべきことの検討 ・ 将来像(キャッチフレーズ)の検討 ・ 区域の検討	作業部会部員 田名部高校、むつ工業高校、大湊高校の生徒  48名

### (2) ワークショップ(大湊地区)のようす

#### ① 第1回ワークショップ ～大湊地区市街地の衰退の原因と活性化のための資源を探る～

グループ毎に大湊地区を歩き、まちの良いところ、悪いところを探りました。



それぞれが気づいた良いところ、悪いところをカードに書きました。



みんなで話し合いながら、大湊地区の特性・問題点を整理しました。



グループ毎に、成果を発表し、意見交換を行いました。

## ② 第3回ワークショップ ～大湊地区の活性化を考える～



みんなで話し合いながら、大湊地区の将来像や活性化のためにすべきことを整理しました。



グループ毎に、成果を発表し、意見交換を行いました。



(3) ワークショップでの提案

ワークショップで提案された内容をまとめると以下ようになります。

■ ワークショップで提案された大湊地区の将来像

海、山など

海・山・港町 まほろば大湊  
海・山・坂のある街 大湊  
海の幸、山の幸  
海の幸、山の幸なら大湊  
山あり海あり夜景あり 夢をはぐくむ 大湊  
海辺のやすらぎプロムナード“大湊”  
ふらっと 海の街 おおみなと  
下北のシンボル釜臥山 とんで見ようみんなで

港町

雄大な海と山 歴史とロマン漂う港町 おおみなと  
ナイスベイ オオミナト  
春夏秋冬 心を育てる北の港 大湊  
湊町大湊の自覚

終着駅

釜臥（山）と安渡（海）が迎える終着の街  
北の終着駅 大湊  
本州北の終着駅 大湊

白鳥

白鳥の街 大湊  
青空と白鳥のまち おおみなと

自衛隊

海上自衛隊の街、大湊  
総監部の街 大湊  
緑と海と海上自衛隊の街「大湊」

本州最北端、下北半島

本州最北の市  
本州最北下北半島中心の地“大湊”  
あっ！ マサカリ半島 大湊  
トマフォークの町 大湊

観光リゾート

緑、光、歴史が共存できるまち シーサイドリゾート大湊  
新・観光地 Ominato

歴史

黒船の町  
斗南のふるさと 大湊

安渡ヶ丘

安渡ヶ丘の大湊  
海の街 “安渡ヶ丘”

その他（水、青空など）

緑と水のおいしい水の大湊  
自然がいっぱい  
私の青空 大湊  
“大湊” 蝶の夜景

■ 大湊地区ワークショップ結果総括表 活性化のためにすべきこと

分類 キーワード	活性化のためにすべきこと	
自然（海、山、川）	・ 海の活用（遊べる海を作る）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海釣り公園の整備（栈橋などを活用、冬は養殖場として、・・・）</li> <li>・ 海沿いの遊歩道、休憩所の整備</li> <li>・ 漁港付近の海の活用（夜間のライトアップとレストランなどの整備）</li> </ul>
	・ 釜臥山の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 釜臥展望台までのロープウェイ（リフト）の整備</li> <li>・ 釜臥山景観を見る遊覧船、全国的なPR</li> </ul>
	・ 川の保全と活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 魚の住む川（小松野川と小荒川を水路で結ぶ）</li> <li>・ 川を汚さない</li> </ul>
	・ 地下水の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地下水の名所化</li> <li>・ 地下水を利用した商品の開発</li> </ul>
歴史・文化	・ 歴史・文化の保全・活用とアピール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 斗南藩土上陸の地の再整備（景観整備、案内板の整備）</li> <li>・ 神社、仏閣散策ルート of 整備</li> <li>・ 旧海軍のまちのアピール（ハード、ソフトの整備）</li> <li>・ 関西との交流の周知</li> </ul>
駅	・ 駅舎の改築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種施設との合築（商業施設、宴会場、コミュニティ施設、公共施設、観光案内、土産物屋、情報発信、市場など）</li> </ul>
未利用地	・ 東北砂鉄跡地の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書館、海を題材にしたレストラン、公園、あづまや</li> <li>・ ねぶた常設、チャレンジショップ、フリーマーケット、おしゃれな専門店街</li> <li>・ 公園・緑地、斗南藩に関する記念館（資料館）</li> <li>・ 自衛隊資料館や自衛隊の船の展示</li> </ul>
道路	・ 南北道路の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ バイパスから国道 338 号への道路の整備</li> <li>・ 国道 338 号から海岸への道路の整備</li> </ul>
	・ 商店街の道路の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道路の拡幅、歩道の整備</li> <li>・ 駐車スペース（前面駐車場）の確保</li> <li>・ アークード化</li> <li>・ 電線類の地中化（電柱撤去）</li> <li>・ 歩道に街灯を増やす（ネブタの街灯）</li> </ul>
	・ 遊歩道（散歩道）の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海沿いの遊歩道</li> <li>・ 駅から海（斗南藩土上陸の地など）への遊歩道</li> <li>・ 高齢者、子供の散歩道、緑の小道</li> </ul>
	・ その他道路の整備など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 坂道の歩道への手すりの設置</li> <li>・ 除雪後の歩道の雪対策</li> </ul>
駐車場	・ 駐車場の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大型駐車場の設置（駅周辺）</li> <li>・ 商店街共同駐車場システム</li> <li>・ 門前駐車場の整備</li> <li>・ 駐車場マップ作り</li> </ul>

分類 キーワード	活性化のためにすべきこと	
公園・緑地	<ul style="list-style-type: none"> <li>旧野球場の利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園、陸奥湾を眺望できる憩いのスペース</li> <li>海に見える丘公園</li> <li>駐車場兼パークゴルフ場、屋外コンサート施設、保健所の改築に合わせた福祉ゾーンの位置づけ</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>願求院の森の整備、活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子供のための公園</li> <li>森の調査（火事の問題、住職との懇談の機会）</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>旧公民館跡地の公園整備</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>その他公園の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>休息（多目的）空間の整備（トイレ、緑化など）</li> <li>空き地を花と緑の公園に</li> <li>イベント広場の整備</li> </ul>
商店街	<ul style="list-style-type: none"> <li>商店街の外観整備、賑わい演出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>店舗のセットバック</li> <li>ファサードの統一</li> <li>装飾、音響を利用した賑わいの演出（ねぶたばやしを流す）</li> <li>雪対策としてのアーケードの整備</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>集客施設の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>集客力のある施設（集客のための共同投資）</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>商店街の再編、空き店舗対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>テナントミックスによる商店街の再編</li> <li>大湊を売り出すための商品の販売所の設置</li> <li>周辺住宅地を考慮した最低基準（医療、日用品、食料品販売、風呂）の整備</li> <li>当地商業者による共同出資店舗（既存店と競合しない店舗）</li> <li>海軍や斗南藩の歴史博物館</li> <li>若い人向けの店（ゲームセンター、スタジオなど）</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>個店の魅力づくり</li> <li>商業者の意識改革（営業姿勢）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>内装の更新、レイアウトの工夫</li> <li>接客態度の改善（笑顔で接客、まめになること）</li> <li>営業時間の見直し（土日営業、早朝及び夜の営業）</li> <li>ニーズにあわせた販売、接客</li> <li>J A無人販売所の充実（品揃え、時間帯）</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>イベントの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の充実（まける市の充実、朝市などの開催）</li> <li>下町どおりの歩行者天国の実施</li> <li>商店街一斉売り出し、大セール</li> <li>産直販売（むつ漁協の新鮮な海産物など）</li> <li>商店街スタンプラリー</li> <li>自衛隊入港に合わせたイベントの実施</li> <li>町内対抗大運動会</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>大湊ならではの商品開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地下水を利用した商品の開発</li> <li>海軍カレーに続くその他の商品開発</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>商店街の情報の公開、共有化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>商店街マップの作成</li> <li>商店街の情報ネットワーク化</li> <li>まちづくり情報の共有化（計画→具体化→報告→意見→見直し→）</li> <li>商店街としての意見集約、提言</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>商業組合の組織化</li> </ul>	
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の建設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>老人福祉施設</li> <li>大学や専門学校</li> <li>健康ランド</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>その他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>案内板の設置</li> <li>建物の色の統一</li> <li>下水道の早期整備</li> </ul>

## 基本計画策定経過

年	月	日	会議等	内容
11	7	9	☆検討委員会設置規程制定	
	9	9	▲第1回検討委員会	組織会・街づくり3法勉強会
12	1	27	▲第2回検討委員会	計画構成案検討
	3	13	☆審議会条例可決	
12	4	13	▲第3回検討委員会	
	7	14	◇第1回作業部会	組織会・勉強会
		27	◇第2回作業部会	大湊地区ワークショップ
	8	2	◇第3回作業部会	田名部地区 〃
		23	◇第4回作業部会	大湊地区 〃
	9	6	◇第5回作業部会	田名部地区 〃
		20	▲第4回検討委員会	提言書検討
		26	◇第6回作業部会	提言書・現況等検討
	11	22	◇第7回作業部会	計画原案検討
		24	▲第5回検討委員会	計画原案検討
		30	□庁議	計画原案協議
	12	20	◎第1回審議会	委嘱・組織会・原案諮問
	13	1	10	◎第2回審議会
26			◎第3回審議会	田名部地区原案審議
2		8	◎第4回審議会	原案修正案検討
		19	◎基本計画原案答申	
		26	▲第6回検討委員会	計画案検討
4		16	☆事業推進委員会設置規程制定	

## 各委員名簿

### 【むつ市中心市街地活性化審議会委員名簿】

会 長 高 橋 一  
 会長職務代理 山 本 文 三

区 分	団 体 名	役 職	氏 名
市議会議員	総務常任委員会	委員長	宮 下 順一郎
	産業経済常任委員会	委員長	山 本 留 義
	建設常任委員会	委員長	菊 池 広 志
	教育民生常任委員会	委員長	高 田 正 俊
公共的団体等の 役員	むつ商工会議所	会 頭	菊 池 健 治
	(産業政策委員会)	委員長	山 本 文 三
	(商業振興委員会)	委員長	上 路 昭 雄
	(青年部)	理 事	石 橋 秀 郎
	(婦人会)	会 長	大 見 幸 子
		専務理事	足 利 鉄 雄
	田名部地区商店会 田名部駅通り商店街振興組合	理事長	橋 本 春 治
	大湊地区商店会 (協) むつ専門店会	理事長	蛭 名 吉五郎
	むつ市観光協会	副会長	杉 田 忠
	(社)下北物産協会	理 事	菊 池 俊 明
	むつ市行政連絡委員連絡協議会	会 長	大 賀 勝
	むつ市女性団体連絡協議会	会 長	松 田 淑 子
	むつ市消費者の会	会 長	村 木 協 子
	むつ青年会議所	理事長	田 中 浩 一
	むつ市社会福祉協議会	会 長	伊 藤 三 郎
学識経験を有する者 その他市長が適 当であると認め る者	むつ市金融団	代 表	平 山 博 道
	北のパイオニア	代 表	高 橋 一
	まちづくり倶楽部	顧 問	白 川 直 人
	下北交通㈱	専務取締役	七 戸 大三郎
	J Rバス東北㈱大湊営業所	所 長	菅 野 孝 雄
J R東日本旅客鉄道㈱大湊営業所	所 長	西 村 文 治	

【むつ市中心市街地活性化作業部会名簿】

区 分	所 属	役 職	氏 名
部 員	むつ商工会議所	商業振興委員会委員	南 谷 信 廣
		商業振興委員会委員	橋 立 清 澄
		青年部理事	石 橋 秀 郎
		青年部部員	秋 浜 秀 一
		婦人会理事	田 中 晴 子
		婦人会会員	川 下 千 代 子
	田名部駅通り商店街振興組合	専務理事	柏 崎 信 治
	小川町商店会	理 事	小 林 宏
	新町商店会	副 会 長	向 井 仁
	(協)むつ専門店会	専務理事	飛 林 剛 克
		会 員	川 畑 剛
		会 員	斉 藤 一 好
		会 員	山 岸 正 子
	むつ青年会議所	まちづくりNPO 担当委員長	木 村 努
	むつ市消費者の会	会 員	尾 花 せ い
	むつ市政モニター		櫻 井 登 久 子
	むつ市女性団体連絡協議会	教養部長 (むつ市婦人 学級連絡会会長)	須 藤 恵 子
		教養部理事 (NTT レディスOG会理事)	柳 谷 勢 津 子
	中小企業診断士		山 本 進
	まちづくり倶楽部	代 表	工 藤 知 彦
		会 員	菊 池 誠
	むつ商工会議所	次長兼振興課長	中 村 俊 三
		指 導 課 長	竹 園 育 雄
		振興課係長	船 場 永 幸
	むつ市役所	企画課長補佐	工 藤 直 行
		都市計画課長補佐	斎 藤 鐘 司
		建築課長補佐	鏡 谷 晃



区 分	所 属	役 職	氏 名
高校先生・生徒	田名部高等学校	先 生	坪 俊 彦
		3 年	佐 藤 剛
		3 年	瀬 尾 幸 子
		3 年	板 井 司
		3 年	駄賃場 佳 純
		3 年	竹 内 美 貴
		3 年	畑 中 祥 恵
	むつ工業高等学校	先 生	白 川 直 人
		3 年	新井田 真 実
		3 年	川 端 識 行
		3 年	澤 谷 久 仁
		3 年	成 田 登志子
		3 年	鳴 海 恵 美
		3 年	小松原 大 樹
	大湊高等学校	3 年	杉 村 良
		2 年	鈴 木 裕 史
3 年		菅 原 理 美	
3 年		小 鷹 恵	
事 務 局	むつ市役所	経 済 部 理 事	二本柳 誠
		商工観光課長	木 村 重 男
		商工観光課長補佐	工 藤 孝 敏
		商工労政係長	山 本 伸 一
		商工労政係主事	杉 澤 一 徳
		臨 時 職 員	佐々木 賀久子
コンサルタント	日本技術開発(株) 東北支社	総合計画部長代理	大 脇 寧
		総合計画部課長	大 塚 正 治
		総合計画部係長	丸 山 亮

【むつ市中心市街地活性化検討委員会名簿】

区 分	所 属	役 職	氏 名	
委 員	総務部 総務課	課 長	新 谷 博 仁	
	総務部 管財課	課 長	船 澤 桂 逸	
	総務部 税務課	課 長	藤 井 幸 男	
	企画部 企画課	課 長	新 谷 加 水	
	企画部 財政課	課 長	高 坂 志 一	
	企画部 広報広聴課	課 長	渡 邊 悟	
	民生部 環境対策課	課 長	柳 田 憲 一	
	保健福祉部 児童家庭課	課 長	工 藤 壽 子	
	保健福祉部 生活福祉課	課 長	葛 西 隆 一	
	保健福祉部 介護福祉課	課 長	齋 藤 純	
	建設部 土木課	課 長	佐 藤 純 一	
	建設部 都市計画課	課 長	越 前 守	
	建設部 下水道課	課 長	工 藤 裕	
	建設部 建築課	課 長	石 田 三 男	
	教育委員会 生涯学習課	課 長	伴 邦 雄	
	公営企業局 工務課	課 長	祐 川 美佐男	
	経 済 部	理 事	二 本 柳 誠	
	経 済 部 商工観光課	課 長	木 村 重 男	
	事 務 局	経 済 部 商工観光課	課長補佐	工 藤 孝 敏
		経 済 部 商工観光課 商工労政係	係 長	山 本 伸 一
経 済 部 商工観光課 商工労政係		主 事	杉 澤 一 徳	
経 済 部 商工観光課 商工労政係		臨時職員	佐々木 賀久子	

【むつ市中心市街地活性化事業推進委員会名簿】

区 分	所 属	役 職	氏 名
委 員	総務部 総務課	課 長	遠藤 雪夫
	総務部 管財課	課 長	立花 征夫
	総務部 税務課	課 長	藤井 幸男
	企画部 企画課	課 長	新谷 加水
	企画部 財政課	課 長	工藤 正明
	企画部 広報広聴課	課 長	舩澤 桂逸
	民生部 環境対策課	課 長	柳田 憲一
	保健福祉部 児童家庭課	課 長	工藤 壽子
	保健福祉部 生活福祉課	課 長	葛西 隆一
	保健福祉部 介護福祉課	課 長	齋藤 純
	建設部 土木課	課 長	佐藤 純一
	建設部 都市計画課	課 長	越前 守
	建設部 下水道課	課 長	工藤 裕
	建設部 建築課	課 長	石田 三男
	教育委員会 生涯学習課	課 長	伴 邦雄
	公営企業局 工務課	課 長	祐川 美佐男
	経 済 部	街づくり推進官	小島 昭夫
	経 済 部 商工観光課	課 長	木村 重男
	経 済 部 商工観光課	主 幹	山本 伸一
	事 務 局	経 済 部 商工観光課 商工労政係	係 長
経 済 部 商工観光課 商工労政係		主 査	工藤 和彦
経 済 部 商工観光課 商工労政係		主 事	宮下 圭一
経 済 部 商工観光課 商工労政係		臨時職員	佐々木 賀久子

## 用語解説

	【用 語】	【意 味】
あ行	アイデンティティ	同一性。物がそれ自身に対し同じであって、一個の物として存在すること。人間学・心理学で、人が時や場面を越えて一個の人格として存在し、自我の統一をもっていること。
	アンテナショップ	新商品を試験的に売り出す小売店舗。消費者の反応を探るアンテナの働きをもつことからいう。パイロット・ショップ。
	インキュベータ	孵化という意味。新規開業者等の新しい商店主を育てる店舗を「インキュベータショップ」等と呼んでいる。
	イニシアティブ	率先して発言したり行動したりして、他を導くこと。主導権。
	インフラ(インフラストラクチャー)	生産や生活の基盤を形成する構造物。ダム・道路・港湾・発電所・通信施設などの産業基盤、および学校・病院・公園などの社会福祉・環境施設がこれに該当する。社会的生産基盤。
	NPO(エヌ・ピー・オー)	Non Profit Organization、民間非営利法人組織の略。市民による自主的なまちづくり・高齢者支援・自然環境保護・ゴミのリサイクル等の活動団体を総称してNPOと呼んでいる。
か行	キャブシステム (CAB-cable box network system)	電気・電話・ケーブルテレビなど電線・回線類を一括して地中に収納する U 字型の構造物。電線・回線類の地下埋設化の一つで、比較的経済的に作れる。
	コミュニティ	人々が共同体意識を持って共同生活を営む一定の地域、およびその人々の集団。地域社会。共同体。
	コミュニティ道路	歩行者等が安全かつ快適に通行できるよう、車道を蛇行させたり、歩道を広げたり、植栽や彫刻、街灯、ベンチ、電話ボックス等を設けた道路。
	コンセンサス	意見の一致。合意。共感。「国民の一を得る」「ナショナルー」
さ行	シルバーハウジングプロジェクト	住宅施策と福祉施策との連携により、高齢者に配慮した公共賃貸住宅を供給すること。
	少子高齢化	人口構成において、子供が少なくなり老人が多くなる現象をいう。今、そして、これから全国的に迎える社会。
	ショッピングモール	歩行者専用型の商店街や買物のための遊歩道。一般的には、十分な歩行者空間を持った大規模商業施設などを指す。
	シンボルロード	都市や地方の顔となる道路。シンボルロード整備事業：人々に親しみと潤いを与え、快適で美しく、楽しい道路空間を形成するため、昭和 59 年度に建設省が創設。
	ストリートファニチャー	歩行者空間に設置する彫刻、街灯、ベンチ、電話ボックス等。
	セットバック	建築物の外壁を敷地境界線から後退させて建てること。また、建築物の上部を段状に後退させること。

た行	タウンマネージャー	まちづくりに係る具体的なプロジェクトの運営・管理から商店街のテナントミックスの管理などを行う専門的な知識を持った人。
	ターミナル	鉄道やバス等の起点・終点にあたる所。交通の結節点。
	中心市街地整備改善活性化法	「中心市街地における市街地の整備改善及び商業等の活性化の一体的推進に関する法律」。平成 10 年 7 月に中心市街地活性化のための総合的な対策を講じる法的枠組みとして施行。
	チャレンジショップ	新規開業者や若手出店希望者等を対象に空き店舗を活用して、家賃補助や改装費用補助等を行い、一定の援助機関を経て将来的に店を構えてもらう取り組み。
	TMO (ティー・エム・オー)	Town Management Organization の略。まちづくりをマネージ(運営・管理)する機関。中心市街地整備改善活性化法に基づき位置づけられた新しいまちづくり機関。
	テナント	貸しビルなどの借り手。店子(たなこ)。
	テナントミックス	商店街や商業施設などにおいて、様々な業種の店舗の配置・誘致をコントロールしながら計画すること。
は行	パティオ型店舗	パティオとはスペイン建築の中庭のこと。パティオ型店舗は広場を中心に小規模店舗が配列された集合店舗の建築形態をいう。
	バリアフリー	障害のある人や高齢者が生活する上で、行動の妨げになる障壁(バリアー)を取り除いたやさしい生活習慣のあり方。
	光ファイバー	光を用いて情報を伝達する際に、光の伝送路として用いるきわめて細いガラス・ファイバー。光信号を減衰させることなく送ることができる。
	ファザード	建物の通りに面した壁面。建物の顔。
	フリーマーケット	蚤(のみ)の市。古物市。いらなくなった洋服や本、小物などを安価で売り買いするイベント的な催物。近年、駐車場や大規模な空閑地を活用して行われている。
	ポケットパーク	小公園。商店街等の空き店舗や空き地を活用した休憩スペース・憩いの場となるような空間。
ま行	メモリアル	故人や歴史上の出来事を記念するもの。「一・ホール」。
	モータリゼーション	自動車が生計必需品として普及する現象。自動車の大衆化。
ら行	ライフスタイル	個人や団体の、生き方。単なる生活様式を超えてその人のアイデンティティを示す際に用いられる。
	レンタサイクル	貸し自転車。レンタカーに倣って作られたことば。
わ行	ワークショップ	研究集会。講習会。様々な立場の人が、共同作業を通じて地域の課題発見・創造的な解決方法や計画の考案・それらの評価などを行っていく活動。